資料編〈財務関連データ〉

三井住友信託銀行

連結	
主な業績指標	76
連結財務諸表	77
金融商品関係	90
有価証券関係	97
金銭の信託関係	100
その他有価証券評価差額金	101
デリバティブ取引関係	102
セグメント情報	109
リスク管理債権の状況	112
金融再生法に基づく資産区分の状況	112
単体	
主な業績指標	113
財務諸表	114
有価証券関係	123
金銭の信託関係	127
その他有価証券評価差額金	128
デリバティブ取引関係	129
損益の状況	136
銀行業務の状況	141
信託業務の状況	149
総資金量	154
併営業務等の状況	155
貸倒引当金等の状況	156
リスク管理債権の状況	157
金融再生法に基づく資産査定の開示及び保全率	157
資本・株式の状況	158

主な業績指標

最近５事業年度の主要指標

（単位：百万円）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
連結経常収益	1,100,746	1,176,118	1,184,096	1,163,628	**1,244,658**
資金運用収益	345,665	360,698	370,428	373,463	**389,888**
信託報酬	89,878	99,222	99,231	100,175	**94,289**
連結経常費用	867,784	931,359	909,055	921,146	**1,066,991**
資金調達費用	127,175	134,050	127,885	143,065	**165,813**
連結経常利益	232,962	244,759	275,040	242,481	**177,667**
親会社株主に帰属する当期純利益	125,188	134,427	153,203	140,749	**113,141**
連結包括利益	262,840	225,421	491,989	36,020	**151,840**
連結純資産額	2,270,724	2,278,489	2,568,141	2,542,469	**2,633,005**
連結総資産額	36,432,931	40,178,429	44,070,299	51,613,282	**52,540,547**
1株当たり純資産額	1,106.90円	1,181.15円	1,419.86円	1,404.45円	**1,457.73円**
1株当たり当期純利益金額	72.00円	77.52円	90.11円	84.05円	**67.56円**
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額（注）	－円	－円	－円	－円	**－円**
預金残高	22,997,707	24,094,545	25,057,728	26,577,818	**29,215,433**
貸出金残高	22,194,917	23,689,058	25,534,790	26,740,793	**27,982,411**
有価証券残高	6,180,225	5,629,697	4,668,534	4,815,901	**5,068,155**
信託財産残高	127,042,831	136,794,720	152,664,958	174,908,223	**188,467,733**
連結普通株式等Tier1比率	8.61%	9.19%	10.16%	11.31%	**10.76%**
連結Tier1比率	9.49%	10.00%	10.68%	12.66%	**12.67%**
連結総自己資本比率	13.75%	14.03%	14.85%	16.09%	**15.58%**

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

連結財務諸表

当社の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項及びその他の注記については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、有限責任 あずさ監査法人の監査証明を受けております。以下の連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書及び注記事項は、上記の連結財務諸表に基づいて作成しております。なお、会社法第444条第1項の規定により作成した書面は、会社法第396条第1項の規定により、有限責任 あずさ監査法人の監査を受けております。

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	平成27年度 平成28年3月31日現在	平成28年度 平成29年3月31日現在
（資産の部）		
現金預け金	14,428,660	**14,269,687**
コールローン及び買入手形	505,252	**64,706**
買現先勘定	110,377	**83,888**
債券貸借取引支払保証金	326,457	**464,956**
買入金銭債権	889,445	**906,572**
特定取引資産 (注) 2,8	614,290	**496,563**
金銭の信託	1,749	**1,650**
有価証券 (注) 1,2,8,15	4,815,901	**5,068,155**
貸出金 (注) 3,4,5,6,7,8,9	26,740,793	**27,982,411**
外国為替	17,223	**16,189**
リース債権及びリース投資資産	608,433	**667,808**
その他資産 (注) 8	1,606,631	**1,603,413**
有形固定資産 (注) 11,12	232,549	**231,288**
建物	73,447	**73,123**
土地 (注) 10	135,464	**133,763**
リース資産	3,415	**5,888**
建設仮勘定	1,820	**811**
その他の有形固定資産	18,401	**17,700**
無形固定資産	184,293	**195,981**
ソフトウェア	68,884	**91,652**
のれん	104,517	**94,490**
リース資産	212	**188**
その他の無形固定資産	10,678	**9,649**
退職給付に係る資産	91,225	**118,795**
繰延税金資産	27,084	**26,262**
支払承諾見返	503,742	**458,010**
貸倒引当金	△90,829	**△115,794**
資産の部合計	51,613,282	**52,540,547**
（負債の部）		
預金 (注) 8	26,577,818	**29,215,433**
譲渡性預金	7,199,632	**7,388,617**
コールマネー及び売渡手形	328,968	**344,089**
売現先勘定 (注) 8	653,456	**1,063,737**
債券貸借取引受入担保金 (注) 8	—	**13,699**
特定取引負債	451,751	**366,879**
借用金 (注) 8,13	2,790,491	**3,813,105**
外国為替	259	**236**
短期社債	1,253,207	**904,248**
社債 (注) 14	864,857	**1,034,093**
信託勘定借	7,026,326	**3,973,623**
その他負債	1,241,345	**1,138,659**
賞与引当金	15,765	**15,729**
役員賞与引当金	255	**259**
退職給付に係る負債	12,996	**13,037**
ポイント引当金	17,711	**17,519**
睡眠預金払戻損失引当金	3,676	**3,583**
偶発損失引当金	7,642	**7,774**
繰延税金負債	117,781	**132,186**
再評価に係る繰延税金負債 (注) 10	3,126	**3,016**
支払承諾	503,742	**458,010**
負債の部合計	49,070,812	**49,907,542**
（純資産の部）		
資本金	342,037	**342,037**
資本剰余金	492,097	**492,039**
利益剰余金	1,106,603	**1,165,558**
株主資本合計	1,940,738	**1,999,635**
その他有価証券評価差額金	484,079	**492,920**
繰延ヘッジ損益	△13,196	**△21,045**
土地再評価差額金 (注) 10	△697	**△1,067**
為替換算調整勘定	685	**20**
退職給付に係る調整累計額	△59,804	**△29,438**
その他の包括利益累計額合計	411,067	**441,390**
非支配株主持分	190,663	**191,979**
純資産の部合計	2,542,469	**2,633,005**
負債及び純資産の部合計	51,613,282	**52,540,547**

連結財務諸表

連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：百万円）

	平成27年度 平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで	平成28年度 平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで
経常収益	1,163,628	**1,244,658**
信託報酬	100,175	**94,289**
資金運用収益	373,463	**389,888**
貸出金利息	262,936	**282,589**
有価証券利息配当金	86,373	**80,280**
コールローン利息及び買入手形利息	792	**1,341**
買現先利息	925	**973**
債券貸借取引受入利息	18	**7**
預け金利息	17,255	**20,308**
その他の受入利息	5,161	**4,387**
役務取引等収益	336,948	**378,510**
特定取引収益	15,964	**18,338**
その他業務収益	286,008	**296,260**
その他経常収益	51,067	**67,370**
償却債権取立益	2,795	**2,813**
その他の経常収益 (注)1	48,272	**64,556**
経常費用	921,146	**1,066,991**
資金調達費用	143,065	**165,813**
預金利息	63,896	**79,921**
譲渡性預金利息	16,575	**27,879**
コールマネー利息及び売渡手形利息	1,517	**912**
売現先利息	4,403	**8,230**
債券貸借取引支払利息	7	**24**
借用金利息	11,482	**14,327**
短期社債利息	2,810	**5,245**
社債利息	13,756	**12,669**
その他の支払利息	28,616	**16,603**
役務取引等費用	94,016	**100,677**
特定取引費用	428	**1,297**
その他業務費用	216,036	**318,885**
営業経費 (注)2	390,654	**420,929**
その他経常費用	76,946	**59,388**
貸倒引当金繰入額	19,198	**26,323**
その他の経常費用 (注)3	57,747	**33,064**
経常利益	242,481	**177,667**
特別利益	2,722	**1,615**
固定資産処分益	1,847	**1,615**
負ののれん発生益	874	**—**
特別損失	8,700	**6,855**
固定資産処分損	3,537	**984**
減損損失	5,163	**5,870**
税金等調整前当期純利益	236,503	**172,427**
法人税、住民税及び事業税	70,008	**50,066**
法人税等調整額	18,345	**1,298**
法人税等合計	88,353	**51,365**
当期純利益	148,149	**121,062**
非支配株主に帰属する当期純利益	7,399	**7,921**
親会社株主に帰属する当期純利益	140,749	**113,141**

連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	平成27年度 平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで	平成28年度 平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで
当期純利益	148,149	**121,062**
その他の包括利益 (注)1	△112,128	**30,778**
その他有価証券評価差額金	△36,231	**11,343**
繰延ヘッジ損益	3,062	**△9,314**
土地再評価差額金	175	**—**
為替換算調整勘定	△11,134	**△1,360**
退職給付に係る調整額	△66,548	**30,389**
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,451	**△279**
包括利益	36,020	**151,840**
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	28,975	**143,834**
非支配株主に係る包括利益	7,045	**8,006**

連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）			
	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	342,037	492,252	1,019,706	1,853,996
当期変動額				
剰余金の配当			△54,606	△54,606
親会社株主に帰属する当期純利益			140,749	140,749
連結子会社株式の取得による持分の増減		△155		△155
連結子会社株式の売却による持分の増減			△25	△25
土地再評価差額金の取崩			779	779
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	ー	△155	86,897	86,742
当期末残高	342,037	492,097	1,106,603	1,940,738

	平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）							
	その他の包括利益累計額							
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	524,689	△20,545	△93	12,838	6,732	523,621	190,524	2,568,141
当期変動額								
剰余金の配当								△54,606
親会社株主に帰属する当期純利益								140,749
連結子会社株式の取得による持分の増減								△155
連結子会社株式の売却による持分の増減								△25
土地再評価差額金の取崩								779
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△40,609	7,348	△604	△12,153	△66,536	△112,554	139	△112,414
当期変動額合計	△40,609	7,348	△604	△12,153	△66,536	△112,554	139	△25,672
当期末残高	484,079	△13,196	△697	685	△59,804	411,067	190,663	2,542,469

（次頁へ続く）

連結財務諸表

連結株主資本等変動計算書

（前頁より続く）

（単位：百万円）

	平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）			
	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	342,037	492,097	1,106,603	1,940,738
当期変動額				
剰余金の配当			△54,556	△54,556
親会社株主に帰属する当期純利益			113,141	113,141
連結子会社株式の取得による持分の増減		△57		△57
土地再評価差額金の取崩			369	369
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	ー	△57	58,954	58,896
当期末残高	342,037	492,039	1,165,558	1,999,635

	平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）							
	その他の包括利益累計額							
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	484,079	△13,196	△697	685	△59,804	411,067	190,663	2,542,469
当期変動額								
剰余金の配当								△54,556
親会社株主に帰属する当期純利益								113,141
連結子会社株式の取得による持分の増減								△57
土地再評価差額金の取崩								369
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	8,841	△7,848	△369	△665	30,365	30,323	1,315	31,639
当期変動額合計	8,841	△7,848	△369	△665	30,365	30,323	1,315	90,535
当期末残高	492,920	△21,045	△1,067	20	△29,438	441,390	191,979	2,633,005

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	平成27年度 平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで	平成28年度 平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	236,503	172,427
減価償却費	23,386	25,390
減損損失	5,163	5,870
のれん償却額	8,915	9,964
負ののれん発生益	△874	—
持分法による投資損益（△は益）	△7,702	△6,950
貸倒引当金の増減（△）	△2,532	24,965
賞与引当金の増減額（△は減少）	3	△36
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	25	4
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	114,184	1,026
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	1,717	65
ポイント引当金の増減額（△は減少）	1,216	△192
睡眠預金払戻損失引当金の増減額（△は減少）	77	△92
偶発損失引当金の増減（△）	△891	131
資金運用収益	△373,463	△389,888
資金調達費用	143,065	165,813
有価証券関係損益（△）	△70,395	59,234
金銭の信託の運用損益（△は運用益）	△80	△69
為替差損益（△は益）	70,463	18,015
固定資産処分損益（△は益）	1,689	△630
特定取引資産の純増（△）減	140,672	117,726
特定取引負債の純増減（△）	46,562	△84,871
貸出金の純増（△）減	△1,194,012	△1,241,618
預金の純増減（△）	1,519,923	2,648,127
譲渡性預金の純増減（△）	550,564	188,985
借用金（劣後特約付借入金を除く）の純増減（△）	△5,135	877,614
預け金（日銀預け金を除く）の純増（△）減	△91,950	187,569
コールローン等の純増（△）減	△368,738	449,770
債券貸借取引支払保証金の純増（△）減	△15,650	△138,498
コールマネー等の純増減（△）	△268,118	425,402
債券貸借取引受入担保金の純増減（△）	—	13,699
外国為替（資産）の純増（△）減	△4,490	1,034
外国為替（負債）の純増減（△）	118	△22
リース債権及びリース投資資産の純増（△）減	△47,042	△59,374
短期社債（負債）の純増減（△）	278,889	△348,958
普通社債発行及び償還による増減（△）	11,511	219,207
信託勘定借の純増減（△）	5,381,504	△3,052,703
資金運用による収入	384,223	395,184
資金調達による支出	△151,670	△161,859
その他	35,636	△40,456
小計	6,353,267	481,008
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△58,775	△91,824
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,294,492	389,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△5,435,189	△5,658,687
有価証券の売却による収入	3,242,632	3,744,994
有価証券の償還による収入	1,868,648	1,607,732
金銭の信託の増加による支出	△250	—
有形固定資産の取得による支出	△19,603	△11,848
有形固定資産の売却による収入	4,353	3,148
無形固定資産の取得による支出	△44,203	△42,925
無形固定資産の売却による収入	0	1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△39,910	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	160	—
持分法適用関連会社株式の取得による支出	—	△24,381
投資活動によるキャッシュ・フロー	△423,362	△381,965
財務活動によるキャッシュ・フロー		
劣後特約付借入れによる収入	180,000	150,000
劣後特約付借入金の返済による支出	△30,000	△5,000
劣後特約付社債及び新株予約権付社債の償還による支出	△141,269	△50,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△434	△170
配当金の支払額	△54,606	△54,556
非支配株主への配当金の支払額	△6,394	△6,358
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,705	33,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,780	△12,536
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	5,812,643	28,596
現金及び現金同等物の期首残高	6,015,607	11,828,250
現金及び現金同等物の期末残高 (注)1	11,828,250	11,856,847

連結財務諸表

注記事項（平成28年度）

（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

1. 連結の範囲に関する事項

（1）連結子会社　64社

主要な会社名

三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社
日興アセットマネジメント株式会社
三井住友トラスト・ローン＆ファイナンス株式会社
三井住友トラスト不動産株式会社
三井住友トラスト保証株式会社
Sumitomo Mitsui Trust Bank（U.S.A.）Limited

（連結の範囲の変更）

SMT Fund Services(UK)Limited ほか1社は、清算に伴い当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。

（2）非連結子会社

主要な会社名

ハミングバード株式会社
アジアゲートウェイ1号投資事業有限責任組合

ハミングバード株式会社ほか30社は、匿名組合方式による賃貸事業を行う営業者等であり、その資産及び損益は実質的に当該子会社に帰属しないものであるため、連結財務諸表規則第5条第1項第2号により連結の範囲から除外しております。

また、アジアゲートウェイ1号投資事業有限責任組合ほか、その他の非連結子会社は、その資産、経常収益、当期純損益（持分に見合う額）、利益剰余金（持分に見合う額）及びその他の包括利益累計額（持分に見合う額）等からみて、連結の範囲から除いても企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいため、連結の範囲から除外しております。

2. 持分法の適用に関する事項

（1）持分法適用の非連結子会社

該当ありません。

(2) 持分法適用の関連会社　23社

主要な会社名

日本株主データサービス株式会社
住信ＳＢＩネット銀行株式会社

（持分法適用の範囲の変更）

Marubeni SuMiT Rail Transport Inc.ほか3社は、株式取得等により当連結会計年度から持分法適用の範囲に含めております。

(3) 持分法非適用の非連結子会社及び関連会社

主要な会社名

ハミングバード株式会社
アジアゲートウェイ1号投資事業有限責任組合

ハミングバード株式会社ほか30社は、匿名組合方式による賃貸事業を行う営業者等であり、その資産及び損益は実質的に当該子会社に帰属しないものであるため、連結財務諸表規則第10条第1項第2号により持分法の対象から除いております。

また、アジアゲートウェイ1号投資事業有限責任組合ほか、その他の持分法非適用の非連結子会社及び関連会社は、当期純損益（持分に見合う額）、利益剰余金（持分に見合う額）及びその他の包括利益累計額（持分に見合う額）等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に重要な影響を与えないため、持分法の対象から除いております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

（1）連結子会社の決算日は次のとおりであります。

4月末日	2社
5月末日	1社
8月末日	1社
9月末日	5社
11月末日	1社
12月末日	10社
1月末日	2社
3月末日	42社

（2）4月末日を決算日とする子会社については、1月末日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表により、5月末日を決算日とする子会社については、2月末日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表により、8月末日を決算日とする子会社については、2月末日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表により、9月末日を決算日とする子会社については、3月末日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表により、11月末日を決算日とする子会社については、2月末日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表により、またその他の子会社については、それぞれの決算日の財務諸表により連結しております。

連結決算日と上記の決算日等との間に生じた重要な取引については、必要な調整を行っております。

4. 会計方針に関する事項

（1）特定取引資産・負債の評価基準及び収益・費用の計上基準

金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る短期的な変動、市場間の格差等を利用して利益を得る等の目的（以下、「特定取引目的」という。）の取引については、取引の約定時点を基準とし、連結貸借対照表上「特定取引資産」及び「特定取引負債」に計上するとともに、当該取引からの損益を連結損益計算書上「特定取引収益」及び「特定取引費用」に計上しております。

特定取引資産及び特定取引負債の評価は、有価証券及び金銭債権等については連結決算日の時価により、スワップ・先物・オプション取引等の派生商品については連結決算日において決済したものとみなした額により行っております。

また、特定取引収益及び特定取引費用の損益計上は、当連結会計年度中の受払利息等に、有価証券及び金銭債権等については前連結会計年度末と当連結会計年度末における評価損益の増減額を、派生商品については前連結会計年度末と当連結会計年度末におけるみなし決済からの損益相当額の増減額を加えております。

（2）有価証券の評価基準及び評価方法

（イ）有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法（定額法）、持分法非適用の非連結子会社株式及び関連会社株式については移動平均法による原価法、その他有価証券のうち株式については連結決算期末月1カ月平均に基づいた市場価格等に基づく時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、株式以外については原則として連結決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、ただし時価を把握することが極めて困難と認められるものについては、移動平均法による原価法により行っております。

なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

（ロ）金銭の信託において信託財産を構成している有価証券の評価は、上記（1）及び（2）（イ）と同じ方法により行っております。

（3）デリバティブ取引の評価基準及び評価方法

デリバティブ取引（特定取引目的の取引を除く。）の評価は、時価法により行っております。

（4）固定資産の減価償却の方法

（イ）有形固定資産（リース資産を除く）

有形固定資産は、主として定額法を採用しております。また、主な耐用年数は次のとおりであります。

建　物　3年～60年
その他　2年～20年

（ロ）無形固定資産（リース資産を除く）

無形固定資産は、定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウエアについては、当社及び連結子会社で定める利用可能期間（主として5年）に基づいて償却しております。

（ハ）リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る「有形固定資産」及び「無形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法により償却しております。

(5) 貸倒引当金の計上基準

当社の貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。

破産、特別清算等法的に経営破綻の事実が発生している債務者（以下、「破綻先」という。）に係る債権及びそれと同等の状況にある債務者（以下、「実質破綻先」という。）に係る債権については、以下のなお書きに記載されている直接減額後の帳簿価額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現在は経営破綻の状況にないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者（以下、「破綻懸念先」という。）に係る債権については、債権額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。

破綻懸念先及び貸出条件緩和債権等を有する債務者並びにその他今後の管理に注意を要する債務者のうち一定範囲に区分される信用リスクを有する債務者で、与信額が一定額以上の大口債務者に対する債権のうち、債権の元本の回収及び利息の受取りに係るキャッシュ・フローを合理的に見積ることができるものについては、当該キャッシュ・フローを貸出条件緩和実施前の約定利子率等で割引いた金額と債権の帳簿価額との差額を貸倒引当金とする方法（キャッシュ・フロー見積法）により計上しております。

上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率等に基づき計上しております。

すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、営業店及び審査各部が資産査定を実施し、当該部署から独立したリスク統括部が査定結果を検証しております。

連結子会社の貸倒引当金は、一般債権については過去の貸倒実績率等を勘案して必要と認めた額を、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額をそれぞれ計上しております。

なお、破綻先及び実質破綻先に対する担保・保証付債権等については、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しており、その金額は20,070百万円であります。

(6) 賞与引当金の計上基準

賞与引当金は、従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当連結会計年度に帰属する額を計上しております。

(7) 役員賞与引当金の計上基準

当社及び一部の連結子会社の役員賞与引当金は、役員への賞与の支払いに備えるため、役員に対する賞与の支給見込額のうち、当連結会計年度に帰属する額を計上しております。

(8) ポイント引当金の計上基準

ポイント引当金は、「ダイナースクラブカード」等において顧客へ付与したポイントの将来の利用による負担に備えるため、将来利用される見込額を合理的に見積り必要と認められる額を計上しております。

(9) 睡眠預金払戻損失引当金の計上基準

睡眠預金払戻損失引当金は、一定の条件を満たし負債計上を中止した預金について、預金者からの払戻請求に備えるため、過去の払戻実績に基づく将来の払戻損失見込額を計上しております。

(10) 偶発損失引当金の計上基準

偶発損失引当金は、オフバランス取引や信託取引等に関して発生する損失に備えるため、将来発生する可能性のある損失を見積り、必要と認められる額を計上しております。

(11) 退職給付に係る会計処理の方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。また、過去勤務費用及び数理計算上の差異の損益処理方法は次のとおりであります。

過去勤務費用　：その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（主として10年）による定額法により損益処理

数理計算上の差異：各連結会計年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（主として8〜10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌連結会計年度から損益処理

なお、一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(12) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

当社の外貨建資産・負債及び海外支店勘定は、取得時の為替相場による円換算額を付す関連会社株式を除き、主として連結決算日の為替相場による円換算額を付しております。

連結子会社の外貨建資産・負債については、それぞれの決算日等の為替相場により換算しております。

(13) リース取引の処理方法

国内連結子会社の所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る収益・費用の計上基準は、リース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法によっております。

(14) 重要なヘッジ会計の方法

(イ) 金利リスク・ヘッジ

当社の金融資産・負債から生じる金利リスクに対するヘッジ会計の方法は、主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号　平成14年2月13日。以下、「業種別監査委員会報告第24号」という。）に規定する繰延ヘッジによっております。ヘッジ有効性評価の方法については、相場変動を相殺するヘッジについて、ヘッジ対象となる預金・貸出金等とヘッジ手段である金利スワップ取引等を一定の残存期間毎にグルーピングのうえ特定し評価しております。また、キャッシュ・フローを固定するヘッジについては、ヘッジ対象とヘッジ手段の金利変動要素の相関関係の検証により有効性の評価をしております。

また、当連結会計年度末の連結貸借対照表に計上している繰延ヘッジ損益のうち、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第15号）を適用して実施しておりました多数の貸出金・預金等から生じる金利リスクをデリバティブ取引を用いて総体で管理する従来の「マクロヘッジ」に基づく繰延ヘッジ損益は、「マクロヘッジ」で指定したそれぞれのヘッジ手段の残存期間に応じ期間配分しております。

なお、当連結会計年度末における「マクロヘッジ」に基づく繰延ヘッジ損失は145百万円（税効果額控除前）であります。

(ロ) 為替変動リスク・ヘッジ

当社の外貨建金融資産・負債から生じる為替変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号　平成14年7月29日。以下、「業種別監査委員会報告第25号」という。）に規定する繰延ヘッジによっております。ヘッジ有効性評価の方法については、外貨建金銭債権債務等の為替変動リスクを減殺する目的で行う通貨スワップ取引及び為替スワップ取引等をヘッジ手段とし、ヘッジ対象である外貨建金銭債権債務等に見合うヘッジ手段の外貨ポジション相当額が存在することを確認することによりヘッジの有効性を評価しております。

また、外貨建有価証券（債券以外）の為替変動リスクをヘッジするため、事前にヘッジ対象となる外貨建有価証券の銘柄を特定し、当該外貨建有価証券について外貨ベースで取得原価以上の直先負債が存在していること等を条件に包括ヘッジとして時価ヘッジを適用しております。

在外子会社及び関連会社に対する持分への投資の為替変動リスクをヘッジするため、同一通貨の為替予約をヘッジ手段として個別ヘッジを行っており、ヘッジ手段から生じた為替換算差額を為替換算調整勘定に含めて処理

連結財務諸表

する方法を適用しております。

（ハ）株価変動リスク・ヘッジ

当社のその他有価証券のうち一部の株式から生じる株価変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、時価ヘッジによっており、当該個別ヘッジに係るヘッジ対象とヘッジ手段の時価変動額を比較する比率分析により有効性の評価をしております。

（ニ）連結会社間取引等

当社のデリバティブ取引のうち連結会社間及び特定取引勘定とそれ以外の勘定との間の内部取引については、ヘッジ手段として指定している金利スワップ取引及び通貨スワップ取引等に対して、業種別監査委員会報告第24号及び同第25号に基づき、恣意性を排除し厳格なヘッジ運営が可能と認められる対外カバー取引の基準に準拠した運営を行っているため、当該金利スワップ取引及び通貨スワップ取引等から生じる収益及び費用は消去せずに損益認識又は繰延処理を行っております。

なお、一部の資産・負債については、個別取引毎の繰延ヘッジを行っております。

また、連結子会社のヘッジ会計の方法は、個別取引毎の繰延ヘッジ又は金利スワップの特例処理によっております。

（15）のれんの償却方法及び償却期間

のれんについては、その個別案件ごとに判断し、20年以内の合理的な年数で償却しております。ただし、重要性の乏しいものについては、発生年度に全額償却しております。

（16）連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲は、当社については連結貸借対照表上の「現金預け金」のうち現金及び日本銀行への預け金であります。連結子会社については連結貸借対照表上の「現金預け金」であります。

（17）消費税等の会計処理

当社及び国内連結子会社の消費税及び地方消費税（以下、「消費税等」という。）の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、資産の取得に係る控除対象外消費税等は、当連結会計年度の費用に計上しております。

（会計方針の変更）

一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号　平成28年6月17日）を当連結会計年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。なお、この変更による当連結会計年度の経常利益及び税金等調整前当期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

（追加情報）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号　平成28年3月28日）を当連結会計年度から適用しております。

（連結貸借対照表関係）

1. 非連結子会社及び関連会社の株式又は出資金の総額

株式	86,275百万円
出資金	33,203百万円

2. 無担保の消費貸借契約により借り入れている有価証券及び現先取引並びに現金担保付債券貸借取引等により受け入れている有価証券のうち、売却又は（再）担保という方法で自由に処分できる権利を有する有価証券は次のとおりであります。

再貸付けに供している有価証券	866,678百万円
当連結会計年度末に当該処分をせずに所有している有価証券	48,103百万円

3. 貸出金のうち破綻先債権額及び延滞債権額は次のとおりであります。

破綻先債権額	2,919百万円
延滞債権額	53,778百万円

なお、破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除く。以下、「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金であります。

また、延滞債権とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金であります。

4. 貸出金のうち3カ月以上延滞債権額は次のとおりであります。

3カ月以上延滞債権額	191百万円

なお、3カ月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸出金で破綻先債権及び延滞債権に該当しないものであります。

5. 貸出金のうち貸出条件緩和債権額は次のとおりであります。

貸出条件緩和債権額	34,343百万円

なお、貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破綻先債権、延滞債権及び3カ月以上延滞債権に該当しないものであります。

6. 破綻先債権額、延滞債権額、3カ月以上延滞債権額及び貸出条件緩和債権額の合計額は次のとおりであります。

合計額	91,233百万円

なお、上記3.から6.に掲げた債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。

7. 手形割引は、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号　平成14年2月13日）に基づき金融取引として処理しております。これにより受け入れた商業手形は、売却又は（再）担保という方法で自由に処分できる権利を有しておりますが、その額面金額は次のとおりであります。

2,299百万円

8. 担保に供している資産は次のとおりであります。

担保に供している資産	
特定取引資産	16,987百万円
有価証券	812,175百万円
貸出金	3,624,556百万円
その他資産	29,604百万円
計	4,483,323百万円
担保資産に対応する債務	
預金	25,784百万円
売現先勘定	685,264百万円
債券貸借取引受入担保金	13,699百万円
借用金	1,969,804百万円

上記のほか、為替決済等の取引の担保あるいは先物取引証拠金等の代用として、次のものを差し入れております。

有価証券	626,817百万円

また、その他資産には、先物取引差入証拠金、保証金及び金融商品等差入担保金が含まれておりますが、その金額は次のとおりであります。

先物取引差入証拠金	7,781百万円
保証金	22,640百万円
金融商品等差入担保金	466,052百万円

9. 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は次のとおりであります。

融資未実行残高	11,960,257百万円
うち原契約期間が1年以内のもの（又は任意の時期に無条件で取消可能なもの）	8,092,361百万円

なお、これらの契約の多くは、融資実行されずに終了するものであるため、融資未実行残高そのものが必ずしも当社及び連結子会社の将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。これらの契約の多くには、金融情勢の変化、債権の保全及びその他相当の事由があるときは、当社及び連結子会社が実行申し込みを受けた融資の拒絶又は契約極度額の減額をすることができる旨の条項

が付けられております。また、契約時において必要に応じて不動産・有価証券等の担保を徴求するほか、契約後も定期的に予め定めている社内手続に基づき顧客の業況等を把握し、必要に応じて契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。

10. 土地の再評価に関する法律（平成10年3月31日公布法律第34号）に基づき、当社の事業用の土地の再評価を行い、評価差額については、当該評価差額に係る税金相当額を「再評価に係る繰延税金負債」として負債の部に計上し、これを控除した金額を「土地再評価差額金」として純資産の部に計上しております。

再評価を行った年月日

平成10年3月31日及び平成11年3月31日

同法律第3条第3項に定める再評価の方法

土地の再評価に関する法律施行令（平成10年3月31日公布政令第119号）第2条第1号に定める標準地の公示価格、同条第2号に定める基準地の標準価格、同条第3号に定める当該事業用の土地の課税台帳に登録されている価格及び同条第4号に定める路線価に基づいて、合理的な調整を行って算出。

同法律第10条に定める再評価を行った事業用の土地の当連結会計年度末における時価の合計額と当該事業用の土地の再評価後の帳簿価額の合計額との差額

5,187百万円

11. 有形固定資産の減価償却累計額

減価償却累計額　182,255百万円

12. 有形固定資産の圧縮記帳額

圧縮記帳額　32,742百万円

（当連結会計年度の圧縮記帳額　—百万円）

13. 借用金には、他の債務よりも債務の履行が後順位である旨の特約が付された劣後特約付借入金が含まれております。

劣後特約付借入金　455,000百万円

うち実質破綻時債務免除特約付劣後借入金　360,000百万円

14. 社債には、劣後特約付社債が含まれております。

劣後特約付社債　350,591百万円

15. 「有価証券」中の社債のうち、有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）による社債に対する保証債務の額

109,176百万円

16. 当社の受託する元本補てん契約のある信託の元本金額は、次のとおりであります。

金銭信託　3,882,168百万円

貸付信託　10,262百万円

（連結損益計算書関係）

1. その他の経常収益には、次のものを含んでおります。

株式等売却益　47,399百万円

持分法投資利益　6,950百万円

2. 営業経費には、次のものを含んでおります。

給料・手当　161,494百万円

3. その他の経常費用には、次のものを含んでおります。

貸出金償却　4,776百万円

組合等出資金損失　3,076百万円

（連結包括利益計算書関係）

1. その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

その他有価証券評価差額金	
当期発生額	△44,800百万円
組替調整額	61,026百万円
税効果調整前	16,225百万円
税効果額	△4,882百万円
その他有価証券評価差額金	11,343百万円
繰延ヘッジ損益	
当期発生額	△14,875百万円
組替調整額	1,413百万円
税効果調整前	△13,462百万円
税効果額	4,148百万円
繰延ヘッジ損益	△9,314百万円
為替換算調整勘定	
当期発生額	△1,360百万円
組替調整額	—百万円
税効果調整前	△1,360百万円
税効果額	—百万円
為替換算調整勘定	△1,360百万円
退職給付に係る調整額	
当期発生額	14,640百万円
組替調整額	29,023百万円
税効果調整前	43,663百万円
税効果額	△13,274百万円
退職給付に係る調整額	30,389百万円
持分法適用会社に対する持分相当額	
当期発生額	34百万円
組替調整額	△313百万円
持分法適用会社に対する持分相当額	△279百万円
その他の包括利益合計	30,778百万円

（連結株主資本等変動計算書関係）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：千株）

	当連結会計年度期首株式数	当連結会計年度増加株式数	当連結会計年度減少株式数	当連結会計年度末株式数	摘要
発行済株式					
普通株式	1,674,537	—	—	1,674,537	

2. 新株予約権に関する事項

区分	新株予約権の内訳	当連結会計年度末残高（百万円）
連結子会社（日興アセットマネジメント株式会社）	ストック・オプションとしての新株予約権	—

3. 配当に関する事項

(1) 当連結会計年度中の配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額（百万円）	1株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
平成28年6月29日定時株主総会	普通株式	34,394	20.54	平成28年3月31日	平成28年6月30日
平成28年11月14日取締役会	普通株式	20,161	12.04	平成28年9月30日	平成28年12月1日

連結財務諸表

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が当連結会計年度の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額(百万円)	配当の原資	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
平成29年6月29日定時株主総会	普通株式	34,227	利益剰余金	20.44	平成29年3月31日	平成29年6月30日
		36,019	資本剰余金	21.51	平成29年3月31日	平成29年6月30日

(連結キャッシュ・フロー計算書関)

1. 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金預け金勘定	14,269,687百万円
当社の預け金 (日本銀行への預け金を除く)	△2,412,840百万円
現金及び現金同等物	11,856,847百万円

(リース取引関係)

1. ファイナンス・リース取引

(借手側)

所有権移転外ファイナンス・リース取引

①リース資産の内容

(ア) 有形固定資産

主として、店舗及び事務機械であります。

(イ) 無形固定資産

ソフトウエアであります。

②リース資産の減価償却の方法

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項「4.会計方針に関する事項」の「(4) 固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりであります。

2. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(借手側)

1年内	1,992百万円
1年超	8,699百万円
合計	10,692百万円

(貸手側)

1年内	1,780百万円
1年超	1,370百万円
合計	3,150百万円

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、企業年金基金制度及び退職一時金制度を設けており、嘱託職員については、内規に基づく退職一時金制度を設けております。また、確定拠出年金制度を設けているほか、従業員の退職に際して割増退職金を支払う場合があります。なお、年金資産の一部として、退職給付信託を設定しております。

連結子会社は、退職一時金制度、確定給付企業年金制度、確定拠出年金制度、厚生年金基金制度を採用しております。また、一部の連結子会社は、総合設立型の年金制度を採用しております。

なお、一部の連結子会社が有する確定給付企業年金制度及び退職一時金制度は、簡便法により退職給付に係る負債及び退職給付費用を計算しております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

区分	金額(百万円)
退職給付債務の期首残高	471,723
勤務費用	15,057
利息費用	2,369
数理計算上の差異の発生額	△5,872
退職給付の支払額	△17,585
退職給付債務の期末残高	465,692

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

区分	金額(百万円)
年金資産の期首残高	549,951
期待運用収益	28,131
数理計算上の差異の発生額	8,767
事業主からの拠出額	532
退職給付の支払額	△15,880
その他	△52
年金資産の期末残高	571,449

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と連結貸借対照表に計上された退職給付に係る負債及び退職給付に係る資産の調整表

区分	金額(百万円)
積立型制度の退職給付債務	454,584
年金資産	△571,449
	△116,864
非積立型制度の退職給付債務	11,107
連結貸借対照表に計上された負債と資産の純額	△105,757
退職給付に係る負債	13,037
退職給付に係る資産	△118,795
連結貸借対照表に計上された負債と資産の純額	△105,757

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

区分	金額(百万円)
勤務費用	15,057
利息費用	2,369
期待運用収益	△28,131
数理計算上の差異の費用処理額	28,928
過去勤務費用の費用処理額	95
その他	1,234
確定給付制度に係る退職給付費用	19,554

(5) 退職給付に係る調整額

退職給付に係る調整額に計上した項目(税効果控除前)の内訳は次のとおりであります。

区分	金額(百万円)
過去勤務費用	95
数理計算上の差異	43,568
合計	43,663

(6) 退職給付に係る調整累計額
退職給付に係る調整累計額に計上した項目（税効果控除前）の内訳は次のとおりであります。

区分	金額（百万円）
未認識過去勤務費用	64
未認識数理計算上の差異	42,556
合計	42,620

(7) 年金資産に関する事項
①年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

債券	20%
株式	58%
現金及び預金	3%
その他	19%
合計	100%

（注） 年金資産合計には、企業年金制度及び退職一時金制度に対して設定した退職給付信託が58%含まれております。

②長期期待運用収益率の設定方法
年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(8) 数理計算上の計算基礎に関する事項
主要な数理計算上の計算基礎

割引率	主に0.5%
長期期待運用収益率	5.1%

3. 確定拠出制度
当社及び連結子会社の確定拠出制度への要拠出額は1,811百万円であります。

（ストック・オプション等関係）

1. ストック・オプションにかかる費用計上額及び科目名
該当ありません。

2. ストック・オプションの内容、規模及びその変動状況
(1) 連結子会社である日興アセットマネジメント株式会社
①ストック・オプションの内容

	平成21年度ストック・オプション（1）
付与対象者の区分及び人数（名）	同社及び同社関係会社の取締役・従業員　271
株式の種類別のストック・オプションの数（注）	同社普通株式　19,724,100株
付与日	平成22年2月8日
権利確定条件	平成24年1月22日（以下、「権利行使可能初日」という。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、同社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	平成24年1月22日から平成32年1月21日まで

	平成21年度ストック・オプション（2）
付与対象者の区分及び人数（名）	同社及び同社関係会社の取締役・従業員　48
株式の種類別のストック・オプションの数（注）	同社普通株式　1,702,800株
付与日	平成22年8月20日
権利確定条件	平成24年1月22日（以下、「権利行使可能初日」という。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、同社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	平成24年1月22日から平成32年1月21日まで

	平成23年度ストック・オプション（1）
付与対象者の区分及び人数（名）	同社及び同社関係会社の取締役・従業員　186
株式の種類別のストック・オプションの数（注）	同社普通株式　6,101,700株
付与日	平成23年10月7日
権利確定条件	平成25年10月7日（以下、「権利行使可能初日」という。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、同社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	平成25年10月7日から平成33年10月6日まで

	平成28年度ストック・オプション（1）
付与対象者の区分及び人数（名）	同社及び同社関係会社の取締役・従業員　16
株式の種類別のストック・オプションの数（注）	同社普通株式　4,437,000株
付与日	平成28年7月15日
権利確定条件	平成30年7月15日（以下、「権利行使可能初日」という。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、同社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	平成30年7月15日から平成38年7月31日まで

（注）株式数に換算して記載しております。

連結財務諸表

（2）ストック・オプションの規模及びその変動状況

当連結会計年度（平成29年3月期）において存在したストック・オプションを対象とし、ストック・オプションの数については、株式数に換算して記載しております。

①ストック・オプションの数

	平成21年度ストック・オプション（1）
付与日	平成22年2月8日
権利確定前（株）	
前連結会計年度末	1,762,200
付与	—
失効	72,600
権利確定	—
未確定残	1,689,600
権利確定後（株）	
前連結会計年度末	—
権利確定	—
権利行使	—
失効	—
未行使残	—

	平成21年度ストック・オプション（2）
付与日	平成22年8月20日
権利確定前（株）	
前連結会計年度末	174,900
付与	—
失効	—
権利確定	—
未確定残	174,900
権利確定後（株）	
前連結会計年度末	—
権利確定	—
権利行使	—
失効	—
未行使残	—

	平成23年度ストック・オプション（1）
付与日	平成23年10月7日
権利確定前（株）	
前連結会計年度末	4,738,800
付与	—
失効	1,848,000
権利確定	—
未確定残	2,890,800
権利確定後（株）	
前連結会計年度末	—
権利確定	—
権利行使	—
失効	—
未行使残	—

	平成28年度ストック・オプション（1）
付与日	平成28年7月15日
権利確定前（株）	
前連結会計年度末	—
付与	4,437,000
失効	33,000
権利確定	—
未確定残	4,404,000
権利確定後（株）	
前連結会計年度末	—
権利確定	—
権利行使	—
失効	—
未行使残	—

②単価情報

	平成21年度ストック・オプション（1）
付与日	平成22年2月8日
権利行使価格（円）	625
付与日における公正な評価単価（円）（注）1	0

	平成21年度ストック・オプション（2）
付与日	平成22年8月20日
権利行使価格（円）	625
付与日における公正な評価単価（円）（注）1	0

	平成23年度ストック・オプション（1）
付与日	平成23年10月7日
権利行使価格（円）	737（注）3
付与日における公正な評価単価（円）（注）1	0

	平成28年度ストック・オプション（1）
付与日	平成28年7月15日
権利行使価格（円）	558
付与日における公正な評価単価（円）（注）1	0

（注）1. 公正な評価単価に代え、本源的価値（取引事例比準法による評価額と行使価格との差額）の見積りによっております。

2. ストック・オプションの単位当たりの本源的価値による算定を行った場合の本源的価値の合計額

当連結会計年度末における本源的価値の合計額　—百万円

3. 株式公開価格が737円（割当日後、株式の分割又は併合が行われたときは、当該金額は、当該株式の分割又は併合の内容を適切に反映するよう調整される。）を上回る金額に定められた場合には、株式公開日において、権利行使価格は株式公開価格と同一の金額に調整されます。

（税効果会計関係）

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
貸倒引当金損金算入限度超過額（貸出金償却含む）	45,849百万円
有価証券償却有税分	21,058百万円
繰延ヘッジ損益	7,578百万円
退職給付に係る連結調整額	13,172百万円
その他	58,018百万円
繰延税金資産小計	145,676百万円
評価性引当額	△20,027百万円
繰延税金資産合計	125,648百万円
繰延税金負債	
退職給付関係	△10,152百万円
その他有価証券評価差額金	△213,147百万円
繰延ヘッジ損益	△117百万円
その他	△8,155百万円
繰延税金負債合計	△231,573百万円
繰延税金資産（△は負債）の純額	△105,924百万円

2. 連結財務諸表提出会社の法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主な項目別の内訳

当連結会計年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（関連当事者情報）

1. 関連当事者との取引

関連当事者との取引について記載すべき重要なものはありません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社（東京証券取引所、名古屋証券取引所に上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

記載すべき重要なものはありません。

（1株当たり情報）

1株当たり純資産額	1,457円73銭
1株当たり当期純利益金額	67円56銭

（注）1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

純資産の部の合計額	2,633,005百万円
純資産の部の合計額から控除する金額	191,979百万円
うち非支配株主持分	191,979百万円
普通株式に係る期末の純資産額	2,441,025百万円
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数	1,674,537千株

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

1株当たり当期純利益金額	
親会社株主に帰属する当期純利益	113,141百万円
普通株主に帰属しない金額	―百万円
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	113,141百万円
普通株式の期中平均株式数	1,674,537千株

3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額

希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。なお、希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要は次のとおりであります。

連結子会社（日興アセットマネジメント株式会社）

概要については、「連結財務諸表　注記事項（ストック・オプション等関係）」に記載しております。

（重要な後発事象）

（優先出資証券の償還）

当社は、平成29年5月15日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるSTB Preferred Capital 3（Cayman）Limitedの発行した優先出資証券について、全額を償還することを承認する決議を行い、同社を解散する方針を決定いたしました。

(1) 償還する優先出資証券の概要

① 発行体　STB Preferred Capital 3（Cayman）Limited

② 償還する証券の種類　円建配当金非累積型永久優先出資証券

③ 償還総額　500億円

④ 償還予定日　平成29年７月25日

(2) 解散する子会社の名称及び概要

① 名　称　STB Preferred Capital 3（Cayman）Limited

② 概　要

名称	住所	資本金又は出資金（百万円）	主要な事業の内容	議決権の所有（又は被所有）割合（%）
STB Preferred Capital 3（Cayman）Limited	ケイマン諸島グランドケイマン	51,500	金融業務	100.00

当社との関係内容				
役員の兼任等（人）	資金援助	営業上の取引	設備の賃貸借	業務提携
4	―	金銭貸借取引 預金取引	―	―

金融商品関係

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社グループでは、銀行持株会社である三井住友トラスト・ホールディングス株式会社のもとで、当社における信託銀行業務を中心とする多様な金融サービスに係る事業を行っております。

これらの事業を行うため、主として個人・法人からの預金、借入金の受入及び社債の発行による資金調達を行い、個人・法人向けの貸出や有価証券により資金運用を行っております。

金融資産及び金融負債の運用や調達については、グループの各社が年度の計画などにおいてその方針、手段などを定めております。

当社グループ全体の金融資産及び金融負債に係るリスクについては三井住友トラスト・ホールディングス株式会社がそのモニタリングを行っております。

当社では、各々のリスクに係るモニタリングを行うとともに、資産及び負債の総合的管理（ALM）を実施しております。また、当社は、資産・負債から生じる市場リスクなどを経営体力に相応しい水準にコントロールするためデリバティブ取引を行っております。また、当社は、銀行法施行規則第13条の6の3に基づき、特定取引勘定（以下、「トレーディング勘定」という。）を設置して、それ以外の勘定（以下、「バンキング勘定」という。）と区分の上、有価証券及びデリバティブ取引のトレーディングを行っております。また、一部の連結子会社は、有価証券のトレーディングを行っております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

① トレーディング勘定

当社グループは、売買目的有価証券のほか、金利、通貨、債券、信用及び商品の店頭又は上場のデリバティブ取引を行っております。これらのデリバティブ取引は、金利変動リスク、為替変動リスク、価格変動リスク及び信用リスク等に晒されております。

② バンキング勘定

当社グループが保有する金融資産は、主として国内の取引先及び個人に対する営業貸付金であり、顧客の契約不履行等の信用リスクに晒されております。

また、有価証券は、主に株式、債券であり、満期保有目的、純投資目的及び事業推進目的で保有しております。これらは、それぞれ発行体の信用リスク及び金利の変動リスク、市場価格の変動リスクに晒されております。

個人・法人預金、借入金、社債は、一定の環境の下で当社グループが市場を利用できなくなる場合など、支払期日にその支払いを実行できなくなる流動性リスクに晒されております。

当社グループは、市場リスクを回避する目的で、金利、通貨、株式、債券及び信用の店頭又は上場のデリバティブ取引を行っております。

主要なリスクである金利リスクについては、金利スワップ取引等をヘッジ手段として、貸出金、預金等の多数の金融資産・負債を金利リスクの特性毎に区分した上で包括的に管理の上、ヘッジ会計を適用しております。また、一部の資産・負債については、個別取引毎にヘッジ会計を適用しております。

当社の外貨建金融資産・負債から生じる為替変動リスクについては、通貨スワップ取引及び為替スワップ取引等をヘッジ手段とし、ヘッジ対象である外貨建金銭債権債務等の為替変動リスクに対してヘッジ会計を適用しております。

なお、ヘッジ会計の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に記載しております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

当社グループでは、取締役会で定めた「リスク管理方針」に従い、全社を通じた各リスク・カテゴリーに関する一連のPDCA（Plan・Do・Check・Action、計画・実行・評価・改善）サイクルの実効性確保をリスク管理の基本と考えています。

各リスク・カテゴリー毎のリスク管理体制は以下の通りです。

① 信用リスクの管理

信用リスクは当社グループが提供する金融商品において与信先またはカウンターパーティーが債務を履行できなくなり、財務的損失を被ることとなるリスクのことであり、主に貸出金をはじめとする債権や有価証券から発生いたします。信用リスクは、金融の基本的機能である「信用創造機能」にかかわる最も基本的なリスクであり、信用リスク管理態勢をより一層高度化するとともに、新規の健全な資金需要にも前向きに取り組むことで、与信ポートフォリオの分散と顧客基盤強化を進めております。

（ｉ）リスク管理方針

当社グループは信用リスク管理の基本方針を「与信ポートフォリオの分散化」と「個別与信管理の厳正化」としております。

前者について当社グループは、与信先毎の信用限度額に基づいてエクスポージャーを管理し、大口与信先に対するリスク顕在化の影響度や業種の分散について信用リスク量の計量を含め定期的に検証を実施しております。また、国別の与信集中リスクについても管理しております。

後者については、案件審査や自己査定、信用格付等の運用を通じて、個別の与信管理を精緻に実施しております。信用格付は与信先の信用状況、案件のデフォルト発生の可能性を段階的に表現したものであり、個々の案件審査や与信ポートフォリオ管理の基礎データとなります。また、自己査定を通じて、取引先の財務状況、資金繰り、収益力などの分析による返済能力、債権の回収可能性等の評価を常時行っております。

（ⅱ）リスク管理体制

当社では、取締役会が経営計画において、信用リスク管理に関する重要事項を決定するとともに、信用リスク管理（資産査定管理を含む。）に関する報告などを踏まえ、与信戦略及びリスク資本配賦計画を決議し、自己査定基準を承認することを通じ資産の健全性を確保しております。個別案件の審査・与信管理にあたっては審査部署と営業店部を互いに分離し相互牽制が働く体制としております。このほか、調査部が中立的な立場で産業調査・個別企業の信用力調査並びに定量的分析などに基づく信用格付を実施し信用リスクを評価しております。また、経営会議や投融資審議会等を定期的に開催し、信用リスクの管理・運営における重要事項を審議しております。以上の相互牽制機能、各種会議体による審議に加え、リスク統括部が信用リスク管理運営の妥当性の検証を実施することにより、適切なリスク管理運営を実施する管理体制を構築しております。

② 市場リスクの管理

市場リスクとは、金利、為替、株式、コモディティ、信用スプレッド等の様々な市場のリスク要因の変動により、保有する資産・負債（オフバランスを含む。）の価値、あるいは資産・負債から生み出される収益が変動し、当社グループが損失を被るリスクを指します。

（ⅰ）リスク管理方針

当社グループは、市場リスク管理にあたって、リスクの適切なコントロールにより業務の健全性の確保を求めるとともに、管理態勢の高度化に取組むことにより、当社グループの戦略目標、業務の規模・特性及びリスク・プロファイルに見合った適正な収益の確保を目指しています。

（ⅱ）リスク管理体制

当社グループでは、市場リスク管理における各種リミットの設定・管理、組織分離等の基本方針を「リスク管理規程」に定め、その具体的な管理方法については「市場リスク管理規則」において定めております。取引実施部門と後方事務部門を明確に分離し、両者から独立して双方を牽制するリスク管理部門としての機能を担うリスク統括部が、市場リスクを一元的に管理することにより、相互牽制が働く体制を取っており、各種リミットの遵守状況や市場リスクの把握・分析結果については、日次で担当役員に報告されるとともに、取締役会等に対して定期的に報告しております。

取締役会は、経営計画において、市場リスクに関する重要事項としてALM基本計画及びリスク管理計画を決議しております。ALM審議会は全社的な観点による資産・負債の総合的なリスク運営・管理に関するALM基本計画及び市場リスクに関する基本的事項を決議しております。

市場リスク管理の企画・推進はリスク統括部が行っております。リスク統括部は、リスク量・損益の計測、ALM基本計画などの下で運営される市場リスクの状況をモニタリングし、リスクリミット等の遵守状況を監視しております。また、その結果をALM審議会の構成員に日次で報告するとともに、ALM審議会や取締役会等に対して定期的に報告しております。

（ⅲ）市場リスクの管理手法

市場リスクの把握にはVaR（Value at Risk）を用いております。VaRとは、過去の市場変動実績から一定の条件の下で将来起こりうる最大損失額を統計的に予測する手法であります。当社では、自社で開発した内部モデルに基づき、VaR計測のほか、さまざまなリスク管理指標の算出やシミュレーションによるリスク管理を実施しております。

当社グループの内部モデルによるVaR計測は、原則として分散・共分散法を基本に、オプション取引などの一部のリスク（非線形リスクなど）の計測については、ヒストリカル・シミュレーション法を併用しております。市場リスクはリスクの特性により、金利変動リスク、株価変動リスク、為替変動リスク等のリスク・カテゴリーに分類されますが、当社では、各リスク・カテゴリー間の相関を考慮せず、それぞれのリスク・カテゴリーを単純合算して市場リスクの算出を行っております。

（ⅳ）市場リスクに係る定量的情報

（ア）トレーディング勘定

当社グループでは、トレーディング勘定で保有する「売買目的有価証券」及び通貨関連・金利関連の一部のデリバティブ取引に関してVaRを用いたリスク管理を行っております。VaRの算定にあたっては、分散・共分散法を主とした計測方法（保有期間10営業日、信頼区間99%、観測期間は主として260営業日間）を採用しております。

平成29年3月31日現在で当社グループのトレーディング業務の市場リスク量（潜在的な損失額の推計値）は、全体で55億円であります。

なお、当社グループでは、モデルが算出するVaRと実際の損益を比較するバックテスティングを実施しております。平成28年度に関して実施したバックテスティングの結果、実際の損失がVaRを超えた回数は1回であり、使用する計測モデルは十分な精度により市場リスクを捕捉しているものと考えております。ただし、VaRは過去の相場変動をベースに統計的に算出した一定の発生確率での市場リスク量を計測しており、通常では考えられないほど市場環境が激変する状況下におけるリスクは捕捉できない場合があります。

（イ）バンキング勘定

当社グループでは、バンキング勘定で保有している金融資産及び負債についてVaRを用いたリスク管理を行っております。金利、為替及び信用スプレッドについては分散・共分散法、株価についてはヒストリカル・シミュレーション法を主とした計測方法（保有期間はポジション特性に応じて設定（最長1年）、信頼区間99%、観測期間は原則として260営業日間、但し、株価については1年と5年の併用）を採用しております。

平成29年3月31日現在で当社グループのバンキング業務の市場リスク量（潜在的な損失額の推計値）は、全体で8,024億円であります。

なお、当社グループでは、バンキング勘定で保有している金融資産及び負債のうち、実施対象と設定したポジションにつき、モデ

金融商品関係

ルが算出するVaRと実際の損益を比較するバックテスティングを実施しており、使用する計測モデルは十分な精度により市場リスクを捕捉しているものと考えております。ただし、VaRは過去の相場変動をベースに統計的に算出した一定の発生確率での市場リスク量を計測しており、通常では考えられないほど市場環境が激変する状況下におけるリスクは捕捉できない場合があります。

③ 資金繰りリスク（資金調達に係る流動性リスク）の管理

資金繰りリスクとは、必要な資金が確保できず資金繰りがつかなくなる場合や、資金の確保に通常よりも著しく高い金利での調達を余儀なくされることにより当社グループが損失を被るリスクを指します。

（ｉ）資金繰りリスク管理方針

資金繰りリスクについては、リスクの顕在化により資金繰りに支障をきたせば、場合によっては当社グループの経営破綻に直結するおそれがあることを十分に認識した上で、適正な資金繰りリスク管理態勢の整備・確立に向けた方針の策定・周知に取り組んでいます。

（ⅱ）資金繰りリスク管理体制・管理方法

資金繰りリスク管理部署は、取締役会で半期毎に承認されたリスク管理計画に基づき、資金繰り管理部署と連携し、当社グループのリスク・プロファイル等の内部環境、経済や市場等の外部環境等の情報を収集・分析し、資金繰りの逼迫度を適切に判定しています。

資金繰り管理部署は、資金繰りリスクを回避するため、あらかじめ定められた適切な限度枠を遵守する資金繰り運営を行い、資金繰りリスク管理部署はその遵守状況をモニタリングしています。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められる非上場株式等は、次表には含めておりません（(注2）参照)。

（単位：百万円）

	平成28年3月末		
	連結貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金預け金（＊1）	14,428,571	14,428,571	―
(2) コールローン及び買入手形	505,252	505,252	―
(3) 買現先勘定	110,377	110,377	―
(4) 債券貸借取引支払保証金	326,457	326,457	―
(5) 買入金銭債権（＊1）	853,478	854,108	630
(6) 特定取引資産			
売買目的有価証券	50,301	50,301	―
(7) 金銭の信託	1,649	1,649	―
(8) 有価証券			
満期保有目的の債券	318,190	354,795	36,605
その他有価証券	4,294,686	4,294,686	―
(9) 貸出金	26,740,793		
貸倒引当金（＊2）	△78,835		
	26,661,958	26,946,501	284,543
(10) 外国為替	17,223	17,223	―
(11) リース債権及びリース投資資産（＊1）	606,306	617,306	10,999
資産計	48,174,452	48,507,230	332,778
(1) 預金	26,577,818	26,618,823	41,004
(2) 譲渡性預金	7,199,632	7,199,632	―
(3) コールマネー及び売渡手形	328,968	328,968	―
(4) 売現先勘定	653,456	653,456	―
(5) 債券貸借取引受入担保金	―	―	―
(6) 借用金	2,790,491	2,805,796	15,304
(7) 外国為替	259	259	―
(8) 短期社債	1,253,207	1,253,207	―
(9) 社債	864,857	896,668	31,810
(10) 信託勘定借	7,026,326	7,026,326	―
負債計	46,695,017	46,783,137	88,120
デリバティブ取引（＊3）			
ヘッジ会計が適用されていないもの	61,945	61,945	―
ヘッジ会計が適用されているもの	(58,331)	(58,331)	―
デリバティブ取引計	3,614	3,614	―

（＊1）現金預け金、買入金銭債権、リース債権及びリース投資資産に対する貸倒引当金については、重要性が乏しいため、連結貸借対照表計上額から直接減額しております。
（＊2）貸出金に対応する一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を控除しております。
（＊3）特定取引資産・負債及びその他資産・負債に計上しているデリバティブ取引を一括して表示しております。
デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、（　）で表示しております。

（単位：百万円）

	平成29年3月末		
	連結貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金預け金（＊1）	14,269,584	14,269,584	―
(2) コールローン及び買入手形	64,706	64,706	―
(3) 買現先勘定	83,888	83,888	―
(4) 債券貸借取引支払保証金	464,956	464,956	―
(5) 買入金銭債権（＊1）	872,988	873,742	754
(6) 特定取引資産			
売買目的有価証券	58,201	58,201	―
(7) 金銭の信託	1,550	1,550	―
(8) 有価証券			
満期保有目的の債券	254,325	281,139	26,813
その他有価証券	4,570,810	4,570,810	―
(9) 貸出金	27,982,411		
貸倒引当金（＊2）	△104,393		
	27,878,018	28,125,095	247,076
(10) 外国為替	16,189	16,189	―
(11) リース債権及びリース投資資産（＊1）	665,695	678,065	12,369
資産計	49,200,915	49,487,929	287,013
(1) 預金	29,215,433	29,258,046	42,612
(2) 譲渡性預金	7,388,617	7,388,617	―
(3) コールマネー及び売渡手形	344,089	344,089	―
(4) 売現先勘定	1,063,737	1,063,737	―
(5) 債券貸借取引受入担保金	13,699	13,699	―
(6) 借用金	3,813,105	3,827,928	14,822
(7) 外国為替	236	236	―
(8) 短期社債	904,248	904,248	―
(9) 社債	1,034,093	1,059,708	25,614
(10) 信託勘定借	3,973,623	3,973,623	―
負債計	47,750,885	47,833,935	83,049
デリバティブ取引（＊3）			
ヘッジ会計が適用されていないもの	69,441	69,441	―
ヘッジ会計が適用されているもの	17,516	17,516	―
デリバティブ取引計	86,957	86,957	―

（＊1）現金預け金、買入金銭債権、リース債権及びリース投資資産に対する貸倒引当金については、重要性が乏しいため、連結貸借対照表計上額から直接減額しております。
（＊2）貸出金に対応する一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を控除しております。
（＊3）特定取引資産・負債及びその他資産・負債に計上しているデリバティブ取引を一括して表示しております。
デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

（注1）金融商品の時価の算定方法

資　産

（1）現金預け金、（2）コールローン及び買入手形、（3）買現先勘定、（4）債券貸借取引支払保証金、及び（10）外国為替

これらの取引のうち、期限のない取引については、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。また、期限のある取引については、約定期間が短期間（1年以内）であるものが大宗を占めており、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

（5）買入金銭債権

買入金銭債権のうち、取引金融機関又はブローカーから提示された価格のあるものについては、当該価格を時価としております。上記以外のものについては、原則として、内部格付、期間に基づく区分ごとに、将来のキャッシュ・フローを割り引いて現在価値を算定し、当該価格を時価としております。

（6）特定取引資産

特定取引目的で保有している債券等の有価証券については、業界団体の公表する価格又は取引金融機関から提示された価格を時価としております。短期社債は、将来のキャッシュ・フローを割り引いて現在価値を算定し、当該価格を時価としております。

（7）金銭の信託

有価証券運用を主目的とする単独運用の金銭の信託において信託財産として運用されている有価証券については、取引所の価格又はブローカーから提示された価格を時価としております。なお、保有目的ごとの金銭の信託に関する注記事項については、「金銭の信託関係」に記載しております。

（8）有価証券

株式については取引所の価格、債券は取引所の価格、業界団体の公表する価格又は取引金融機関、ブローカーから提示された価格を時価としております。投資信託については、公表されている基準価額を時価としております。

自行保証付私募債等については、内部格付、期間に基づく区分ごとに、将来のキャッシュ・フローを割り引いて現在価値を算定し、当該価格を時価としております。

なお、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項は「有価証券関係」に記載しております。

金融商品関係

(9) 貸出金

貸出金については、貸出条件、内部格付及び期間等に基づく区分ごとに、元利金の合計額を同様の新規貸出を行った場合に想定される利率で割り引いて時価を算定しておりますが、貸出金の特性や、実行後の貸出先の信用状態から時価が帳簿価額と近似していると認められる変動金利貸出については、当該帳簿価額を時価としております。

また、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等については、見積将来キャッシュ・フローの現在価値又は担保及び保証による回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は連結決算日における連結貸借対照表上の債権等計上額から貸倒引当金計上額を控除した金額に近似しており、当該価額を時価としております。

貸出金のうち、当該貸出を担保資産の範囲内に限る等の特性により、返済期限を設けていないものについては、返済見込み期間及び金利条件等から、時価は帳簿価額と近似しているものと想定されるため、当該帳簿価額を時価としております。

(11) リース債権及びリース投資資産

リース債権及びリース投資資産については、内部格付、期間に基づく区分ごとに、元利金の合計額を同様の新規契約を行った場合に想定される利率で割り引いて時価を算定しております。

負　債

(1) 預金、及び（2）譲渡性預金

要求払預金については、連結決算日に要求された場合の支払額（帳簿価額）を時価とみなしております。

固定金利定期預金については、商品ごとに区分し、将来のキャッシュ・フローを割り引いて現在価値を算定し、当該価格を時価としております。その割引率は、新規に預金を受け入れる際に使用する利率を用いております。なお、原則として、預入期間が短期間（1年以内）のもの及び変動金利によるものについては、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(3) コールマネー及び売渡手形、（4）売現先勘定、（5）債券貸借取引受入担保金、（7）外国為替、（8）短期社債、及び（10）信託勘定借

これらの取引のうち、期限のない取引については、連結決算日に要求された場合の支払額（帳簿価額）を時価とみなしております。また、期限のある取引については、約定期間が短期間（1年以内）であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(6) 借用金

借用金のうち、変動金利によるものについては、短期間で市場金利を反映し、また、信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似しているとみなし、当該帳簿価額を時価としております。固定金利によるものについては、将来のキャッシュ・フローを同様の借り入れにおいて想定される利率で割り引いて現在価値を算定し、当該価格を時価としております。なお、残存期間が短期間（1年以内）のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(9) 社債

当社及び連結子会社の発行する社債のうち、市場価格のあるものについては、当該価格を時価としております。上記以外のものについては、将来キャッシュ・フローを同様の社債を発行した場合に想定される利率で割り引いて現在価値を算定し、当該価格を時価としております。

デリバティブ取引

デリバティブ取引については、「デリバティブ取引関係」に記載しております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品の連結貸借対照表計上額は次のとおりであり、金融商品の時価情報の「資産（5）買入金銭債権」及び「資産（8）その他有価証券」には含まれておりません。

（単位：百万円）

区分	平成28年3月末	平成29年3月末
買入金銭債権	35,687	**33,127**
有価証券	109,234	**123,540**
①　非上場株式（＊3）	50,194	**58,980**
②　組合出資金	53,108	**53,670**
③　その他（＊3）	5,931	**10,889**
合計	144,922	**156,668**

（＊1）上記金融商品については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしておりません。
（＊2）子会社株式及び関連会社株式等は、上記に含めておりません。
（＊3）前連結会計年度において、非上場株式について227百万円、その他について0百万円減損処理を行っております。
当連結会計年度において、非上場株式について3,146百万円、その他について22百万円減損処理を行っております。

（注3）金銭債権及び満期のある有価証券の連結決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	平成28年3月末					
	1年以内	1年超 3年以内	3年超 5年以内	5年超 7年以内	7年超 10年以内	10年超
預け金	14,327,830	809	―	―	―	―
コールローン及び買入手形	505,252	―	―	―	―	―
買現先勘定	110,377	―	―	―	―	―
債券貸借取引支払保証金	326,457	―	―	―	―	―
買入金銭債権（＊1）	651,456	53,771	44,767	23,484	20,786	92,757
金銭の信託	153	―	100	―	1,496	―
有価証券	907,863	529,564	901,445	337,964	148,173	391,004
満期保有目的の債券	56,381	24,691	30,141	58,425	10,896	144,526
うち国債	50,125	20,691	―	―	60	115,000
社債	―	―	―	―	―	21,380
その他有価証券のうち満期があるもの	851,482	504,873	871,303	279,538	137,277	246,478
うち国債	555,225	―	―	10,000	―	4,000
地方債	589	―	2,465	―	1,764	―
社債	30,985	246,555	145,524	118,011	43,526	50,706
貸出金（＊2）	4,256,433	5,522,753	4,198,113	2,984,368	1,896,050	5,589,312
リース債権及びリース投資資産（＊3）	164,592	242,526	114,297	26,658	43,733	3,997
合計	21,250,416	6,349,425	5,258,724	3,372,476	2,110,240	6,077,072

（＊1）買入金銭債権のうち、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等、償還予定額が見込めないもの28百万円は含めておりません。
（＊2）貸出金のうち、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等、償還予定額が見込めないもの69,921百万円、期間の定めのないもの2,223,839百万円は含めておりません。
（＊3）リース債権及びリース投資資産のうち、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等、償還予定額が見込めないもの1,869百万円、残価保証額及び見積残存価額10,756百万円は含めておりません。

（単位：百万円）

	平成29年3月末					
	1年以内	1年超 3年以内	3年超 5年以内	5年超 7年以内	7年超 10年以内	10年超
預け金	**14,075,111**	**1,304**	**―**	**―**	**―**	**―**
コールローン及び買入手形	**64,706**	**―**	**―**	**―**	**―**	**―**
買現先勘定	**83,888**	**―**	**―**	**―**	**―**	**―**
債券貸借取引支払保証金	**464,956**	**―**	**―**	**―**	**―**	**―**
買入金銭債権（＊1）	**689,274**	**68,813**	**35,859**	**21,844**	**16,046**	**73,151**
金銭の信託	**152**	**100**	**―**	**1,398**	**―**	**―**
有価証券	**587,476**	**306,985**	**861,130**	**259,928**	**718,817**	**609,420**
満期保有目的の債券	**33,210**	**24,400**	**25,347**	**8,001**	**1,326**	**162,844**
うち国債	**20,691**	**―**	**―**	**―**	**60**	**115,000**
社債	**―**	**―**	**―**	**―**	**―**	**29,141**
その他有価証券のうち満期があるもの	**554,266**	**282,585**	**835,783**	**251,926**	**717,491**	**446,575**
うち国債	**170,100**	**―**	**100**	**―**	**―**	**―**
地方債	**―**	**―**	**1,358**	**―**	**3,444**	**―**
社債	**87,559**	**187,021**	**114,871**	**156,934**	**33,056**	**46,251**
貸出金（＊2）	**4,145,255**	**6,160,912**	**3,901,519**	**3,043,322**	**2,167,889**	**6,335,720**
リース債権及びリース投資資産（＊3）	**175,353**	**247,708**	**123,669**	**35,659**	**49,779**	**22,553**
合計	**20,286,175**	**6,785,824**	**4,922,179**	**3,362,152**	**2,952,533**	**7,040,846**

（＊1）買入金銭債権のうち、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等、償還予定額が見込めないもの70百万円は含めておりません。
（＊2）貸出金のうち、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等、償還予定額が見込めないもの56,698百万円、期間の定めのないもの2,171,093百万円は含めておりません。
（＊3）リース債権及びリース投資資産のうち、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等、償還予定額が見込めないもの561百万円、残価保証額及び見積残存価額12,522百万円は含めておりません。

金融商品関係

（注4）社債、借用金及びその他の有利子負債の連結決算日後の返済予定額

（単位：百万円）

	平成28年3月末					
	1年以内	1年超 3年以内	3年超 5年以内	5年超 7年以内	7年超 10年以内	10年超
預金（＊1）	18,016,674	5,815,546	2,744,049	1,013	534	―
譲渡性預金	7,145,508	54,123	―	―	―	―
コールマネー及び売渡手形	328,968	―	―	―	―	―
売現先勘定	653,456	―	―	―	―	―
借用金（＊2）	1,506,849	256,334	232,304	115,053	301,462	238,487
短期社債	1,253,820	―	―	―	―	―
社債（＊3）	115,315	325,432	238,636	80,000	6,500	73,000
信託勘定借	7,026,326	―	―	―	―	―
合計	36,046,918	6,451,438	3,214,989	196,067	308,496	311,487

（＊1）預金のうち、要求払預金については、「1年以内」に含めて開示しております。なお、預金には、当座預金を含めて開示しております。
（＊2）借用金のうち、返済期限の定めのない永久劣後特約付借入金140,000百万円は含めておりません。
（＊3）社債のうち、償還期限の定めのない永久劣後社債26,100百万円は含めておりません。

（単位：百万円）

	平成29年3月末					
	1年以内	1年超 3年以内	3年超 5年以内	5年超 7年以内	7年超 10年以内	10年超
預金（＊1）	**21,270,359**	**5,581,645**	**2,349,246**	**14,181**	**―**	**―**
譲渡性預金	**7,266,935**	**121,682**	**―**	**―**	**―**	**―**
コールマネー及び売渡手形	**344,089**	**―**	**―**	**―**	**―**	**―**
売現先勘定	**1,063,737**	**―**	**―**	**―**	**―**	**―**
債券貸借取引受入担保金	**13,699**	**―**	**―**	**―**	**―**	**―**
借用金（＊2）	**2,290,979**	**379,947**	**160,898**	**141,301**	**312,643**	**287,335**
短期社債	**904,910**	**―**	**―**	**―**	**―**	**―**
社債（＊3）	**171,473**	**517,178**	**200,000**	**40,000**	**69,500**	**10,000**
信託勘定借	**3,973,623**	**―**	**―**	**―**	**―**	**―**
合計	**37,299,807**	**6,600,452**	**2,710,145**	**195,483**	**382,143**	**297,335**

（＊1）預金のうち、要求払預金については、「1年以内」に含めて開示しております。なお、預金には、当座預金を含めて開示しております。
（＊2）借用金のうち、返済期限の定めのない永久劣後特約付借入金240,000百万円は含めておりません。
（＊3）社債のうち、償還期限の定めのない永久劣後社債26,100百万円は含めておりません。

有価証券関係

※1. 連結貸借対照表の「有価証券」のほか、「特定取引資産」中の商品有価証券及び短期社債、並びに「買入金銭債権」中の貸付債権信託受益権等を含めて記載しております。
※2.「子会社株式及び関連会社株式」については、財務諸表における注記事項として記載しております。

(1) 売買目的有価証券

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
連結会計年度の損益に含まれた評価差額	45	**△96**

(2) 満期保有目的の債券

（単位：百万円）

種類		平成28年3月末		
		連結貸借対照表計上額	時価	差額
時価が連結貸借対照表計上額を超えるもの	国債	190,763	214,999	24,236
	地方債	—	—	—
	短期社債	—	—	—
	社債	21,380	21,653	273
	その他	190,032	202,522	12,490
	外国債券	87,825	99,977	12,152
	その他	102,207	102,545	338
	小計	402,176	439,175	36,999
時価が連結貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—
	地方債	—	—	—
	短期社債	—	—	—
	社債	—	—	—
	その他	18,397	18,341	△56
	外国債券	18,221	18,165	△56
	その他	175	175	—
	小計	18,397	18,341	△56
合計		420,574	457,517	36,943

（単位：百万円）

種類		平成29年3月末		
		連結貸借対照表計上額	時価	差額
時価が連結貸借対照表計上額を超えるもの	国債	**140,239**	**160,301**	**20,062**
	地方債	**—**	**—**	**—**
	短期社債	**—**	**—**	**—**
	社債	**20,141**	**20,359**	**218**
	その他	**162,167**	**168,883**	**6,716**
	外国債券	**72,414**	**79,026**	**6,612**
	その他	**89,752**	**89,857**	**104**
	小計	**322,547**	**349,544**	**26,996**
時価が連結貸借対照表計上額を超えないもの	国債	**—**	**—**	**—**
	地方債	**—**	**—**	**—**
	短期社債	**—**	**—**	**—**
	社債	**9,000**	**8,937**	**△62**
	その他	**13,181**	**13,164**	**△16**
	外国債券	**12,530**	**12,514**	**△16**
	その他	**650**	**650**	**—**
	小計	**22,181**	**22,102**	**△78**
合計		**344,728**	**371,646**	**26,917**

有価証券関係

(3) その他有価証券

（単位：百万円）

種類		平成28年3月末		
		連結貸借対照表計上額	取得原価	差額
連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	1,223,562	570,073	653,488
	債券	922,429	917,198	5,231
	国債	501,148	499,869	1,278
	地方債	3,316	3,283	32
	短期社債	—	—	—
	社債	417,964	414,044	3,920
	その他	1,502,254	1,423,340	78,913
	外国株式	3,210	1,565	1,644
	外国債券	858,239	845,686	12,553
	その他	640,804	576,089	64,715
	小計	3,648,246	2,910,612	737,634
連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	76,940	98,352	△21,411
	債券	289,166	292,822	△3,656
	国債	70,018	70,022	△4
	地方債	1,529	1,534	△4
	短期社債	—	—	—
	社債	217,618	221,265	△3,647
	その他	328,118	341,393	△13,275
	外国株式	16,222	19,773	△3,551
	外国債券	210,153	211,003	△849
	その他	101,742	110,617	△8,874
	小計	694,225	732,568	△38,342
合計		4,342,472	3,643,181	699,291

（単位：百万円）

種類		平成29年3月末		
		連結貸借対照表計上額	取得原価	差額
連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	**1,324,024**	**554,147**	**769,876**
	債券	**461,873**	**458,667**	**3,206**
	国債	**101**	**101**	**0**
	地方債	**2,233**	**2,216**	**17**
	短期社債	**—**	**—**	**—**
	社債	**459,538**	**456,350**	**3,188**
	その他	**774,684**	**760,576**	**14,108**
	外国株式	**10,919**	**8,839**	**2,079**
	外国債券	**687,418**	**681,599**	**5,818**
	その他	**76,347**	**70,136**	**6,211**
	小計	**2,560,582**	**1,773,390**	**787,191**
連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	**72,732**	**86,774**	**△14,042**
	債券	**340,796**	**342,296**	**△1,499**
	国債	**170,264**	**170,365**	**△100**
	地方債	**2,557**	**2,586**	**△28**
	短期社債	**—**	**—**	**—**
	社債	**167,973**	**169,344**	**△1,370**
	その他	**1,635,887**	**1,698,829**	**△62,942**
	外国株式	**10,512**	**11,443**	**△931**
	外国債券	**701,208**	**722,233**	**△21,024**
	その他	**924,166**	**965,152**	**△40,986**
	小計	**2,049,416**	**2,127,900**	**△78,484**
合計		**4,609,998**	**3,901,291**	**708,707**

(4) 当連結会計年度中に売却した満期保有目的の債券

平成27年度

該当ありません。

平成28年度

該当ありません。

(5) 当連結会計年度中に売却したその他有価証券

（単位：百万円）

種類	平成27年度		
	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
株式	92,338	27,210	222
債券	219,681	3,833	174
国債	144,776	3,800	67
地方債	7,806	9	17
短期社債	—	—	—
社債	67,098	23	88
その他	2,918,213	54,428	10,848
外国債券	2,737,368	52,709	4,462
その他	180,844	1,718	6,386
合計	3,230,233	85,471	11,245

（注）時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券を含んでおります。

（単位：百万円）

種類	平成28年度		
	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
株式	**80,281**	**47,183**	**1,267**
債券	**318,513**	**1,977**	**361**
国債	**227,504**	**1,438**	**292**
地方債	**9,228**	**15**	**28**
短期社債	**—**	**—**	**—**
社債	**81,781**	**522**	**41**
その他	**3,376,212**	**19,884**	**122,887**
外国債券	**3,142,440**	**19,453**	**118,303**
その他	**233,771**	**431**	**4,584**
合計	**3,775,007**	**69,044**	**124,517**

（注）時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券を含んでおります。

(6) 保有目的を変更した有価証券

当連結会計年度中に、満期保有目的の債券8,821百万円(外国債券)について、米国金融規制改革法への対応のため売却を前提に、保有目的をその他有価証券に変更しております。

なお、当該債券については全て当連結会計年度中に売却が完了しており、この変更による連結財務諸表への影響はありません。

(7) 減損処理を行った有価証券

売買目的有価証券以外の有価証券（時価を把握することが極めて困難なものを除く）のうち、当該有価証券の時価が取得原価に比べて著しく下落しており、時価が取得原価まで回復する見込みがあると認められないものについては、当該時価をもって連結貸借対照表計上額とするとともに、評価差額を当該連結会計年度の損失として処理（以下、「減損処理」という。）しております。

前連結会計年度における減損処理額は、3,498百万円（うち、株式3,487百万円、その他11百万円）であります。

当連結会計年度における減損処理額は、株式679百万円であります。

また、時価が「著しく下落した」と判断するための基準は、資産の自己査定において、有価証券の発行会社の区分が正常先に該当するものについては、時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合とし、今後の管理に注意を要する要注意先以下に該当するものについては、時価が取得原価に比べ30%以上下落した場合であります。なお、一部の有価証券については、上記に加え、時価が取得原価に比べて30%以上50%未満下落し、かつ一定期間下落が継続している場合には、時価に回復可能性がないものとして減損処理を行っております。

金銭の信託関係

(1) 運用目的の金銭の信託

（単位：百万円）

	平成28年3月末	
	連結貸借対照表計上額	当連結会計年度の損益に含まれた評価差額
運用目的の金銭の信託	153	3

（単位：百万円）

	平成29年3月末	
	連結貸借対照表計上額	当連結会計年度の損益に含まれた評価差額
運用目的の金銭の信託	**152**	**△0**

(2) 満期保有目的の金銭の信託

平成28年3月末

該当ありません。

平成29年3月末

該当ありません。

(3) その他の金銭の信託（運用目的及び満期保有目的以外）

（単位：百万円）

	平成28年3月末				
	連結貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	うち連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの
その他の金銭の信託	1,596	967	628	628	ー

(注)「うち連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの」「うち連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの」はそれぞれ「差額」の内訳であります。

（単位：百万円）

	平成29年3月末				
	連結貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	うち連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの
その他の金銭の信託	**1,498**	**971**	**527**	**527**	**ー**

(注)「うち連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの」「うち連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの」はそれぞれ「差額」の内訳であります。

その他有価証券評価差額金

平成27年度

連結貸借対照表に計上されているその他有価証券評価差額金の内訳は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	平成28年3月末
評価差額	688,592
その他有価証券	687,963
その他の金銭の信託	628
（△）繰延税金負債	208,813
その他有価証券評価差額金（持分相当額調整前）	479,778
（△）非支配株主持分相当額	176
（＋）持分法適用会社が所有するその他有価証券に係る評価差額金のうち親会社持分相当額	4,477
その他有価証券評価差額金	484,079

（注）1. 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券に係る為替換算差額については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。
2. 組合等の構成資産であるその他有価証券に係る評価差額191百万円については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。
3. 保有目的を変更した有価証券に関して変更時に生じた評価差額の当連結会計年度末における未償却残高については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。

平成28年度

連結貸借対照表に計上されているその他有価証券評価差額金の内訳は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	平成29年3月末
評価差額	**704,831**
その他有価証券	**704,304**
その他の金銭の信託	**527**
（△）繰延税金負債	**213,722**
その他有価証券評価差額金（持分相当額調整前）	**491,108**
（△）非支配株主持分相当額	**227**
（＋）持分法適用会社が所有するその他有価証券に係る評価差額金のうち親会社持分相当額	**2,039**
その他有価証券評価差額金	**492,920**

（注）1. 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券に係る為替換算差額については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。
2. 組合等の構成資産であるその他有価証券に係る評価差額722百万円については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。
3. 保有目的を変更した有価証券に関して変更時に生じた評価差額の当連結会計年度末における未償却残高については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。

デリバティブ取引関係

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの連結決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

(1) 金利関連取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成28年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	金利先物				
	売建	45,249,251	14,813,892	△60,758	△60,758
	買建	43,087,805	13,133,651	56,151	56,151
	金利オプション				
	売建	2,389,802	107,556	△363	428
	買建	1,656,571	46,307	299	△378
店頭	金利先渡契約				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	55,422,627	45,299,001	2,381,311	2,381,311
	受取変動・支払固定	53,714,268	44,374,631	△2,300,241	△2,300,241
	受取変動・支払変動	6,657,076	6,022,090	6,140	6,140
	金利オプション				
	売建	5,526,509	5,367,603	△89,839	△57,574
	買建	3,038,329	2,934,950	61,861	43,246
	その他				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
合計		―	―	54,563	68,325

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

（単位：百万円）

区分	種類	平成29年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	金利先物				
	売建	**47,877,278**	**21,805,067**	**21,853**	**21,853**
	買建	**46,948,398**	**20,150,198**	**△21,684**	**△21,684**
	金利オプション				
	売建	**2,375,805**	**159,806**	**△518**	**3**
	買建	**1,504,870**	**96,656**	**536**	**39**
店頭	金利先渡契約				
	売建	**―**	**―**	**―**	**―**
	買建	**―**	**―**	**―**	**―**
	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	**60,456,775**	**49,894,560**	**1,184,388**	**1,184,388**
	受取変動・支払固定	**59,977,847**	**48,455,485**	**△1,143,113**	**△1,143,113**
	受取変動・支払変動	**12,429,992**	**10,606,892**	**2,071**	**2,071**
	金利オプション				
	売建	**5,843,688**	**5,666,325**	**△15,052**	**6,969**
	買建	**3,047,232**	**2,895,927**	**19,657**	**10,303**
	その他				
	売建	**―**	**―**	**―**	**―**
	買建	**―**	**―**	**―**	**―**
合計		**―**	**―**	**48,139**	**60,833**

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

(2) 通貨関連取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成28年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
	通貨オプション				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
店頭	通貨スワップ	3,218,253	2,903,071	9,327	9,327
	為替予約				
	売建	10,173,574	611,767	38,474	38,474
	買建	10,277,799	593,724	△30,395	△30,395
	通貨オプション				
	売建	1,042,194	470,032	△46,385	△4,051
	買建	1,031,475	402,842	38,584	2,326
	その他				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
合計		―	―	9,605	15,682

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

（単位：百万円）

区分	種類	平成29年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
	通貨オプション				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
店頭	通貨スワップ	**3,839,894**	**2,729,472**	**19,275**	**19,275**
	為替予約				
	売建	**10,443,601**	**494,399**	**△5,853**	**△5,853**
	買建	**12,775,451**	**457,261**	**14,487**	**14,487**
	通貨オプション				
	売建	**1,258,710**	**576,059**	**△45,547**	**8,880**
	買建	**1,138,819**	**521,704**	**41,528**	**△6,299**
	その他				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
合計		―	―	**23,889**	**30,489**

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

デリバティブ取引関係

(3) 株式関連取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成28年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	株式指数先物				
	売建	228,244	ー	352	352
	買建	239,109	ー	△987	△987
	株式指数オプション				
	売建	47,106	ー	△141	211
	買建	40,253	ー	123	△129
店頭	有価証券店頭オプション				
	売建	ー	ー	ー	ー
	買建	ー	ー	ー	ー
	有価証券店頭指数等スワップ				
	株価指数等変化率受取・短期変動金利支払	5,000	5,000	328	328
	短期変動金利受取・株価指数等変化率支払	5,000	5,000	△328	△328
	その他				
	売建	ー	ー	ー	ー
	買建	ー	ー	ー	ー
合計		ー	ー	△653	△553

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、大阪取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

（単位：百万円）

区分	種類	平成29年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	株式指数先物				
	売建	**77,382**	**ー**	**△163**	**△163**
	買建	**58,961**	**ー**	**276**	**276**
	株式指数オプション				
	売建	**10,170**	**ー**	**△28**	**31**
	買建	**5,158**	**ー**	**12**	**△15**
店頭	有価証券店頭オプション				
	売建	**ー**	**ー**	**ー**	**ー**
	買建	**ー**	**ー**	**ー**	**ー**
	有価証券店頭指数等スワップ				
	株価指数等変化率受取・短期変動金利支払	**5,000**	**5,000**	**312**	**312**
	短期変動金利受取・株価指数等変化率支払	**5,000**	**5,000**	**△312**	**△312**
	その他				
	売建	**ー**	**ー**	**ー**	**ー**
	買建	**ー**	**ー**	**ー**	**ー**
合計		**ー**	**ー**	**97**	**129**

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、大阪取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

(4) 債券関連取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成28年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	債券先物				
	売建	2,611,324	ー	△12,683	△12,683
	買建	2,320,413	ー	12,203	12,203
	債券先物オプション				
	売建	162,021	ー	△748	△176
	買建	179,198	ー	356	△190
店頭	債券先渡契約				
	売建	99,748	ー	△597	△597
	買建	138,847	ー	721	721
	債券店頭オプション				
	売建	14,022	ー	△93	△30
	買建	14,022	ー	19	△64
	その他				
	売建	ー	ー	ー	ー
	買建	ー	ー	ー	ー
合計		ー	ー	△823	△817

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、大阪取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、オプション価格計算モデル等により算定しております。

（単位：百万円）

区分	種類	平成29年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	債券先物				
	売建	**3,109,489**	**ー**	**△16,850**	**△16,850**
	買建	**2,879,426**	**ー**	**15,798**	**15,798**
	債券先物オプション				
	売建	**135,219**	**ー**	**△584**	**△128**
	買建	**118,317**	**ー**	**207**	**△18**
店頭	債券先渡契約				
	売建	**154,594**	**ー**	**△1,388**	**△1,388**
	買建	**117,864**	**ー**	**507**	**507**
	債券店頭オプション				
	売建	**6,871**	**ー**	**△51**	**△14**
	買建	**86,264**	**5,052**	**798**	**△336**
	その他				
	売建	**ー**	**ー**	**ー**	**ー**
	買建	**ー**	**ー**	**ー**	**ー**
合計		**ー**	**ー**	**△1,561**	**△2,430**

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、大阪取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、オプション価格計算モデル等により算定しております。

(5) 商品関連取引

平成28年3月末
該当ありません。

平成29年3月末
該当ありません。

デリバティブ取引関係

(6) クレジット・デリバティブ取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成28年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・スワップ				
	売建	77,279	77,279	922	922
	買建	88,309	88,309	△1,669	△1,669
	その他				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
合計		―	―	△746	△746

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値により算定しております。
3. 「売建」は信用リスクの引受取引、「買建」は信用リスクの引渡取引であります。

（単位：百万円）

区分	種類	平成29年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・スワップ				
	売建	**80,288**	**79,288**	**1,640**	**1,640**
	買建	**125,188**	**124,188**	**△2,763**	**△2,763**
	その他				
	売建	**―**	**―**	**―**	**―**
	買建	**―**	**―**	**―**	**―**
合計		**―**	**―**	**△1,123**	**△1,123**

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値により算定しております。
3. 「売建」は信用リスクの引受取引、「買建」は信用リスクの引渡取引であります。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごと、ヘッジ会計の方法別の連結決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額及び時価並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

(1) 金利関連取引

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成28年3月末		
			契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	金利スワップ	貸出金、その他有価証券（債券）、預金、社債等の有利息の金融資産・負債			
	受取固定・支払変動		3,403,405	2,943,405	20,230
	受取変動・支払固定		894,213	822,279	△45,497
	金利先物				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
	金利オプション				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
	その他				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
金利スワップの特例処理	金利スワップ	借用金			（注）3
	受取固定・支払変動		―	―	
	受取変動・支払固定		1,586	1,400	
合計			―	―	△25,266

（注）1. 主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号　平成14年2月13日）に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。
3. 金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている借用金と一体として処理されているため、その時価は「金融商品関係」の当該借用金の時価に含めて記載しております。

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成29年3月末		
			契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	金利スワップ	貸出金、その他有価証券（債券）、預金、社債等の有利息の金融資産・負債			
	受取固定・支払変動		5,209,766	2,863,293	5,905
	受取変動・支払固定		1,149,071	1,085,680	△31,646
	金利先物				
	売建		－	－	－
	買建		－	－	－
	金利オプション				
	売建		－	－	－
	買建		－	－	－
	その他				
	売建		－	－	－
	買建		－	－	－
金利スワップの特例処理	金利スワップ	借用金			
	受取固定・支払変動		－	－	（注）3
	受取変動・支払固定		1,000	1,000	
合計			－	－	△25,740

（注）1. 主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号　平成14年2月13日）に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。
3. 金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている借用金と一体として処理されているため、その時価は「金融商品関係」の当該借用金の時価に含めて記載しております。

（2）通貨関連取引

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成28年3月末		
			契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	通貨スワップ	外貨建の貸出金、有価証券等	4,803,548	2,430,675	△33,544
	為替予約				
	売建		7,355	－	171
	買建		6,497	－	△295
	その他				
	売建		－	－	－
	買建		－	－	－
ヘッジ手段から生じた為替換算差額を為替換算調整勘定に含めて処理する方法	為替予約	子会社・関連会社に対する持分への投資			
	売建		37,834	－	621
	買建		－	－	－
合計			－	－	△33,046

（注）1. 主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号　平成14年7月29日）に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値等により算定しております。

デリバティブ取引関係

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成29年3月末		
			契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	通貨スワップ	外貨建の貸出金、有価証券等	3,873,763	1,887,999	43,328
	為替予約				
	売建		7,219	―	△1
	買建		10,407	―	△115
	その他				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
ヘッジ手段から生じた為替換算差額を為替換算調整勘定に含めて処理する方法	為替予約	子会社・関連会社に対する持分への投資			
	売建		38,974	―	44
	買建		―	―	―
合計			―	―	43,257

（注）1. 主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号　平成14年7月29日）に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値等により算定しております。

(3) 株式関連取引

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成28年3月末		
			契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
ヘッジ対象に係る損益を認識する方法	有価証券指数等スワップ	その他有価証券（株式）			
	株価指数等変化率受取・短期変動金利支払		―	―	―
	短期変動金利受取・株価指数等変化率支払		848	―	△17
合計			―	―	△17

（注）時価の算定
割引現在価値により算定しております。

平成29年3月末
該当ありません。

(4) 債券関連取引
平成28年3月末
該当ありません。

平成29年3月末
該当ありません。

セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

（単位：百万円）

	平成27年度					
	銀行信託事業	リース事業	金融関連事業	計	消去又は全社	連結
Ⅰ経常収益						
（1）外部顧客に対する経常収益	804,127	218,194	141,305	1,163,628	－	1,163,628
（2）セグメント間の内部経常収益	7,209	481	713	8,404	(8,404)	－
計	811,337	218,675	142,018	1,172,032	(8,404)	1,163,628
経常費用	569,779	211,429	144,430	925,639	(4,492)	921,146
経常利益	241,558	7,246	△2,411	246,393	(3,911)	242,481
Ⅱ資産、減価償却費、減損損失及び資本的支出						
資産	50,618,547	963,747	1,143,786	52,726,081	(1,112,798)	51,613,282
減価償却費	20,947	1,172	1,267	23,386	－	23,386
減損損失	5,134	－	29	5,163	－	5,163
資本的支出	60,649	914	2,242	63,807	－	63,807

（単位：百万円）

	平成28年度					
	銀行信託事業	リース事業	金融関連事業	計	消去又は全社	連結
Ⅰ経常収益						
（1）外部顧客に対する経常収益	845,706	231,467	167,485	1,244,658	－	1,244,658
（2）セグメント間の内部経常収益	6,416	476	671	7,564	(7,564)	－
計	852,122	231,943	168,156	1,252,223	(7,564)	1,244,658
経常費用	703,406	221,445	146,697	1,071,549	(4,558)	1,066,991
経常利益	148,716	10,498	21,458	180,673	(3,006)	177,667
Ⅱ資産、減価償却費、減損損失及び資本的支出						
資産	51,370,781	1,201,002	1,129,040	53,700,823	(1,160,276)	52,540,547
減価償却費	22,799	1,099	1,492	25,390	－	25,390
減損損失	5,844	－	26	5,870	－	5,870
資本的支出	52,063	1,392	1,314	54,774	－	54,774

（注）1. 各事業の主な内容は次のとおりであります。
①銀行信託事業…信託銀行業及びその付随業務、従属業務
②リース事業…リース業
③金融関連事業…金銭貸付業、投資運用業、投資助言業、クレジットカード業等
2. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。
3. 資本的支出にはシステム関連投資等を含んでおります。

セグメント情報

（参考）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、三井住友信託銀行株式会社と、その他の連結会社で構成されており、「三井住友信託銀行」及び「三井住友トラスト・パナソニックファイナンス」を報告セグメントとしております。報告セグメントの主たる業務は、以下に示すとおりです。

「三井住友信託銀行」 ……信託銀行業務
「三井住友トラスト・パナソニックファイナンス」 ……リース業務

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であり、報告セグメントの利益は税金等調整前当期純利益であります。

なお、セグメント間の内部取引における価額は、外部顧客との間の取引価額と同一であります。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

（単位：百万円）

	平成28年度						
	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	三井住友信託銀行	三井住友トラスト・パナソニックファイナンス	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	800,188	231,298	1,031,487	210,577	1,242,065	2,593	1,244,658
セグメント間の内部経常収益	9,368	2,124	11,492	56,686	68,179	△68,179	—
計	809,556	233,423	1,042,979	267,264	1,310,244	△65,585	1,244,658
セグメント利益	111,325	10,367	121,693	51,822	173,515	△1,087	172,427
セグメント資産	50,969,247	1,284,831	52,254,078	9,778,966	62,033,045	△9,492,497	52,540,547
セグメント負債	48,659,522	1,122,515	49,782,038	9,181,676	58,963,714	△9,056,172	49,907,542
その他の項目							
減価償却費	21,562	1,099	22,661	4,005	26,667	△1,276	25,390
のれんの償却額	—	—	—	2,278	2,278	7,686	9,964
資金運用収益	370,630	2,972	373,602	28,203	401,806	△11,918	389,888
資金調達費用	167,378	3,487	170,866	4,256	175,123	△9,309	165,813
持分法投資利益又は損失（△）	—	△690	△690	2,092	1,401	5,548	6,950
特別利益	635	0	635	1,081	1,716	△101	1,615
（固定資産処分益）	635	0	635	1,081	1,716	△101	1,615
特別損失	6,621	12	6,633	125	6,759	96	6,855
（固定資産処分損）	845	12	857	99	956	28	984
（減損損失）	5,776	—	5,776	26	5,802	68	5,870
のれんの未償却残高	—	—	—	20,765	20,765	73,725	94,490
持分法適用会社への投資額	43,860	11,303	55,163	9,455	64,619	21,530	86,149

（注）1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
2. 報告セグメントのうち、「三井住友トラスト・パナソニックファイナンス」については、連結数値で記載しております。
3. 「その他」の区分は、当社及び三井住友トラスト・パナソニックファイナンスグループ以外の連結会社を含んでおります。
4. 調整額は連結調整によるものであります。
5. セグメント利益は、連結損益計算書の税金等調整前当期純利益と調整を行っております。

【関連情報】

1. サービスごとの情報

（単位：百万円）

	平成28年度			
	信託銀行業	リース業	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	**800,188**	**231,298**	**213,171**	**1,244,658**

（注）一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

（1） 経常収益

（単位：百万円）

平成28年度				
日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	合計
1,065,769	**74,997**	**41,723**	**62,168**	**1,244,658**

（注）1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
2. 当社（海外店を除く。）及び国内連結子会社の取引に係る経常収益は「日本」に分類しております。また、当社の海外店及び在外連結子会社の取引に係る経常収益は、海外店及び各社の所在地を基礎とし、地理的な近接度等を考慮の上、「米州」「欧州」「アジア・オセアニア」に分類しております。

（2） 有形固定資産

当社グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

当社グループと当社グループの顧客との取引により発生する経常収益において、その多様な取引を膨大な相手先別に区分していないため、主要な顧客ごとの情報については記載しておりません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

「セグメント情報」に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

「セグメント情報」に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当ありません。

リスク管理債権の状況

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
銀行勘定		
破綻先債権額	4,229	**2,919**
延滞債権額	65,692	**53,778**
3カ月以上延滞債権額	—	**191**
貸出条件緩和債権額	40,999	**34,343**
合計	110,921	**91,233**
信託勘定		
破綻先債権額	—	**—**
延滞債権額	5,057	**4,964**
3カ月以上延滞債権額	—	**—**
貸出条件緩和債権額	85	**67**
合計	5,143	**5,032**
銀信合算		
総合計	116,064	**96,265**
貸出金残高		
銀行勘定	26,740,793	**27,982,411**
信託勘定	55,904	**47,186**

（注）部分直接償却（平成28年3月末22,032百万円、平成29年3月末15,075百万円）後の計数。

金融再生法に基づく資産区分の状況

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
銀行勘定		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	18,277	**12,288**
危険債権	64,121	**54,050**
要管理債権	41,031	**37,571**
合計	123,430	**103,910**
信託勘定		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11	**10**
危険債権	5,046	**4,953**
要管理債権	85	**67**
合計	5,143	**5,032**
銀信合算		
総合計	128,573	**108,942**

（注）部分直接償却（平成28年3月末26,987百万円、平成29年3月末19,974百万円）後の計数。

主な業績指標

最近５事業年度の主要指標

（単位：百万円）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
経常収益	725,475	778,194	807,234	773,221	**809,556**
資金運用収益	333,312	348,379	355,133	357,465	**370,630**
信託報酬	89,984	99,302	99,231	100,288	**94,289**
経常費用	534,827	589,757	577,200	554,344	**692,245**
資金調達費用	133,802	140,470	130,707	145,351	**167,378**
業務粗利益	449,674	461,585	494,235	485,343	**383,349**
一般貸倒引当金繰入額	ー	ー	ー	△6,394	**△27,957**
経費	△239,422	△249,712	△248,531	△236,158	**△232,797**
実質業務純益	210,258	211,877	245,704	249,184	**150,552**
業務純益	210,251	211,872	245,704	242,790	**122,594**
経常利益	190,648	188,436	230,033	218,877	**117,311**
当期純利益	105,160	116,002	130,546	143,154	**77,663**
資本金	342,037	342,037	342,037	342,037	**342,037**
発行済株式総数（普通株式）	1,674,537千株	1,674,537千株	1,674,537千株	1,674,537千株	**1,674,537千株**
発行済株式総数（第二種優先株式）	109,000千株	109,000千株	ー千株	ー千株	**ー千株**
純資産額	1,884,714	2,031,168	2,228,533	2,285,263	**2,309,724**
総資産額	35,294,966	39,122,664	42,705,462	50,256,590	**50,969,247**
預金残高	22,885,737	24,072,972	24,855,580	26,467,412	**29,019,323**
貸出金残高	22,349,067	24,034,244	25,826,433	27,044,368	**28,158,969**
有価証券残高	6,531,276	5,971,283	5,039,688	5,311,214	**5,518,947**
1株当たり純資産額	1,060.26円	1,146.50円	1,330.83円	1,364.71円	**1,379.32円**
1株当たり配当額（普通株式）	169.04円	16.88円	34.14円	32.52円	**53.99円**
1株当たり配当額（第二種優先株式）	42.30円	42.30円	21.15円	ー円	**ー円**
内1株当たり中間配当額（普通株式）	5.50円	ー円	13.51円	11.98円	**12.04円**
内1株当たり中間配当額（第二種優先株式）	21.15円	21.15円	21.15円	ー円	**ー円**
1株当たり当期純利益金額	60.04円	66.52円	76.58円	85.48円	**46.37円**
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額（注）	ー円	ー円	ー円	ー円	**ー円**
信託財産残高	127,042,831	136,794,720	152,664,958	174,908,223	**188,467,733**
信託勘定貸出金残高	468,216	541,613	781,607	1,072,436	**1,410,062**
信託勘定有価証券残高	721,626	1,254,913	1,578,475	1,954,552	**3,077,763**
普通株式等Tier1比率	8.40%	8.74%	9.66%	11.08%	**10.60%**
Tier1比率	9.90%	9.91%	10.39%	12.63%	**12.60%**
総自己資本比率	14.25%	13.97%	14.58%	16.08%	**15.55%**
配当性向	281.51%	25.37%	44.57%	38.04%	**70.03%**
従業員数	12,790人	13,587人	13,552人	13,463人	**13,647人**

（注）「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

財務諸表

当社の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、有限責任 あずさ監査法人の監査証明を受けております。以下の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び注記事項は、上記の財務諸表に基づいて作成しております。なお、会社法第435条第2項の規定により作成した書面は、会社法第396条第1項により、有限責任 あずさ監査法人の監査を受けております。

貸借対照表

（単位：百万円）

	平成27年度 平成28年3月31日現在	平成28年度 平成29年3月31日現在
（資産の部）		
現金預け金	14,130,060	**13,963,744**
現金	99,924	**193,245**
預け金	14,030,136	**13,770,498**
コールローン	505,252	**64,706**
買現先勘定	110,377	**83,888**
債券貸借取引支払保証金	326,457	**464,956**
買入金銭債権	108,506	**92,904**
特定取引資産 (注)2,8	699,465	**663,043**
商品有価証券	25,999	**14,102**
商品有価証券派生商品	38	**766**
特定取引有価証券派生商品	80	**181**
特定金融派生商品	564,740	**437,997**
その他の特定取引資産	108,605	**209,996**
金銭の信託	99	**99**
有価証券 (注)1,2,8	5,311,214	**5,518,947**
国債	761,553	**310,354**
地方債	4,846	**4,790**
社債 (注)13	762,116	**733,853**
株式	1,721,485	**1,829,637**
その他の証券	2,061,212	**2,640,310**
貸出金 (注)3,4,5,6,8,9	27,044,368	**28,158,969**
割引手形 (注)7	2,478	**2,299**
手形貸付	394,874	**330,708**
証書貸付	24,500,877	**25,710,505**
当座貸越	2,146,138	**2,115,455**
外国為替	17,223	**16,189**
外国他店預け	17,223	**16,189**
その他資産	1,219,699	**1,187,878**
未決済為替貸	666	**602**
前払費用	3,251	**3,295**
未収収益	103,530	**102,924**
先物取引差入証拠金	8,435	**7,781**
先物取引差金勘定	5,337	**1,020**
金融派生商品	531,027	**461,332**
金融商品等差入担保金	470,912	**466,052**
その他の資産 (注)8	96,539	**144,869**
有形固定資産 (注)10	200,688	**200,957**
建物	65,425	**65,439**
土地	114,766	**114,010**
リース資産	3,355	**5,852**
建設仮勘定	1,781	**710**
その他の有形固定資産	15,359	**14,944**
無形固定資産	69,867	**91,265**
ソフトウエア	65,490	**86,907**
リース資産	198	**181**
その他の無形固定資産	4,178	**4,176**
前払年金費用	175,791	**160,295**
支払承諾見返	401,825	**391,434**
貸倒引当金	△64,305	**△90,030**
資産の部合計	50,256,590	**50,969,247**

（単位：百万円）

	平成27年度 平成28年3月31日現在	平成28年度 平成29年3月31日現在
（負債の部）		
預金 (注)8	26,467,412	**29,019,323**
当座預金	636,540	**632,628**
普通預金	4,828,481	**5,576,969**
貯蓄預金	2,173	**1,959**
通知預金	78,830	**54,248**
定期預金	19,639,013	**21,508,417**
その他の預金	1,282,373	**1,245,099**
譲渡性預金	7,254,132	**7,523,217**
コールマネー	385,283	**400,164**
売現先勘定 (注)8	653,456	**1,063,737**
債券貸借取引受入担保金 (注)8	—	**13,699**
特定取引負債	451,751	**366,879**
商品有価証券派生商品	—	**15**
特定取引有価証券派生商品	21	**—**
特定金融派生商品	451,729	**366,863**
借用金 (注)8	2,372,163	**3,365,201**
借入金 (注)11	2,372,163	**3,365,201**
外国為替	259	**2,240**
外国他店預り	246	**2,219**
未払外国為替	12	**21**
短期社債	903,142	**418,862**
社債 (注)12	855,857	**1,029,093**
信託勘定借	7,026,326	**3,973,623**
その他負債	1,029,798	**920,767**
未決済為替借	965	**995**
未払法人税等	42,745	**2,197**
未払費用	84,414	**88,360**
前受収益	2,762	**3,084**
先物取引差金勘定	—	**307**
借入商品債券	2,683	**47,938**
金融派生商品	638,916	**445,344**
金融商品等受入担保金	197,037	**269,639**
リース債務	3,999	**6,671**
資産除去債務	3,857	**4,137**
その他の負債	52,415	**52,090**
賞与引当金	9,249	**9,018**
役員賞与引当金	110	**91**
退職給付引当金	667	**695**
睡眠預金払戻損失引当金	3,676	**3,583**
偶発損失引当金	7,642	**7,774**
繰延税金負債	145,445	**147,097**
再評価に係る繰延税金負債	3,126	**3,016**
支払承諾 (注)8	401,825	**391,434**
負債の部合計	47,971,327	**48,659,522**
（純資産の部）		
資本金	342,037	**342,037**
資本剰余金	492,252	**492,252**
資本準備金	273,016	**273,016**
その他資本剰余金	219,236	**219,236**
利益剰余金	981,246	**1,004,722**
利益準備金	69,020	**69,020**
その他利益剰余金	912,225	**935,702**
別途準備金	371,870	**371,870**
繰越利益剰余金	540,355	**563,832**
株主資本合計	1,815,536	**1,839,012**
その他有価証券評価差額金	477,729	**487,623**
繰延ヘッジ損益	△7,305	**△15,844**
土地再評価差額金	△697	**△1,067**
評価・換算差額等合計	469,727	**470,711**
純資産の部合計	2,285,263	**2,309,724**
負債及び純資産の部合計	50,256,590	**50,969,247**

財務諸表

損益計算書

（単位：百万円）

	平成27年度 平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで	平成28年度 平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで
経常収益	773,221	**809,556**
信託報酬	100,288	**94,289**
資金運用収益	357,465	**370,630**
貸出金利息	249,422	**266,449**
有価証券利息配当金	88,788	**82,622**
コールローン利息	449	**1,063**
買現先利息	925	**973**
債券貸借取引受入利息	18	**7**
預け金利息	16,198	**18,411**
その他の受入利息	1,661	**1,102**
役務取引等収益	188,193	**200,728**
受入為替手数料	1,486	**1,445**
その他の役務収益	186,706	**199,282**
特定取引収益	15,964	**18,338**
商品有価証券収益	927	**—**
特定金融派生商品収益	14,831	**18,282**
その他の特定取引収益	204	**55**
その他業務収益	74,119	**72,114**
外国為替売買益	16,500	**28,608**
国債等債券売却益	56,767	**21,630**
金融派生商品収益	—	**21,181**
その他の業務収益	851	**694**
その他経常収益	37,191	**53,454**
償却債権取立益	1,876	**1,717**
株式等売却益	28,025	**46,191**
その他の経常収益	7,289	**5,545**
経常費用	554,344	**692,245**
資金調達費用	145,351	**167,378**
預金利息	63,284	**78,340**
譲渡性預金利息	16,575	**27,879**
コールマネー利息	1,753	**1,383**
売現先利息	4,403	**8,230**
債券貸借取引支払利息	7	**24**
借用金利息	15,244	**18,247**
短期社債利息	2,332	**5,057**
社債利息	13,320	**12,592**
金利スワップ支払利息	16,273	**1,043**
その他の支払利息	12,157	**14,578**
役務取引等費用	76,688	**84,593**
支払為替手数料	775	**778**
その他の役務費用	75,913	**83,814**
特定取引費用	428	**1,297**
商品有価証券費用	—	**258**
特定取引有価証券費用	428	**1,039**
その他業務費用	28,219	**119,483**
国債等債券売却損	5,035	**118,589**
国債等債券償却	11	**—**
金融派生商品費用	22,877	**—**
その他の業務費用	294	**893**
営業経費 (注)1	251,989	**262,466**
その他経常費用	51,667	**57,025**
貸倒引当金繰入額	9,378	**26,043**
貸出金償却	6,493	**378**
株式等売却損	5,567	**5,723**
株式等償却	3,714	**9,168**
その他の経常費用 (注)2	26,512	**15,712**
経常利益	218,877	**117,311**

（単位：百万円）

	平成27年度 平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで	平成28年度 平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで
特別利益	1,735	**635**
固定資産処分益	1,735	**635**
特別損失	5,417	**6,621**
固定資産処分損	3,215	**845**
減損損失	2,202	**5,776**
税引前当期純利益	215,196	**111,325**
法人税、住民税及び事業税	57,621	**32,701**
法人税等調整額	14,421	**961**
法人税等合計	72,042	**33,662**
当期純利益	143,154	**77,663**

財務諸表

株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）							
	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	342,037	273,016	219,236	492,252	69,020	822,898	891,919	1,726,208
当期変動額								
剰余金の配当						△54,606	△54,606	△54,606
当期純利益						143,154	143,154	143,154
土地再評価差額金の取崩						779	779	779
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	89,327	89,327	89,327
当期末残高	342,037	273,016	219,236	492,252	69,020	912,225	981,246	1,815,536

	平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）				
	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	512,775	△10,357	△93	502,324	2,228,533
当期変動額					
剰余金の配当					△54,606
当期純利益					143,154
土地再評価差額金の取崩					779
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△35,045	3,052	△604	△32,597	△32,597
当期変動額合計	△35,045	3,052	△604	△32,597	56,729
当期末残高	477,729	△7,305	△697	469,727	2,285,263

（単位：百万円）

	平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）							
	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	342,037	273,016	219,236	492,252	69,020	912,225	981,246	1,815,536
当期変動額								
剰余金の配当						△54,556	△54,556	△54,556
当期純利益						77,663	77,663	77,663
土地再評価差額金の取崩						369	369	369
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	23,476	23,476	23,476
当期末残高	342,037	273,016	219,236	492,252	69,020	935,702	1,004,722	1,839,012

	平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）				
	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	477,729	△7,305	△697	469,727	2,285,263
当期変動額					
剰余金の配当					△54,556
当期純利益					77,663
土地再評価差額金の取崩					369
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	9,894	△8,539	△369	984	984
当期変動額合計	9,894	△8,539	△369	984	24,461
当期末残高	487,623	△15,844	△1,067	470,711	2,309,724

財務諸表

注記事項（平成28年度）

（重要な会計方針）

1. 特定取引資産・負債の評価基準及び収益・費用の計上基準

金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る短期的な変動、市場間の格差等を利用して利益を得る等の目的（以下、「特定取引目的」という。）の取引については、取引の約定時点を基準とし、貸借対照表上「特定取引資産」及び「特定取引負債」に計上するとともに、当該取引からの損益を損益計算書上「特定取引収益」及び「特定取引費用」に計上しております。

特定取引資産及び特定取引負債の評価は、有価証券及び金銭債権等については決算日の時価により、スワップ・先物・オプション取引等の派生商品については決算日において決済したものとみなした額により行っております。

また、特定取引収益及び特定取引費用の損益計上は、当事業年度中の受払利息等に、有価証券、金銭債権等については前事業年度末と当事業年度末における評価損益の増減額を、派生商品については前事業年度末と当事業年度末におけるみなし決済からの損益相当額の増減額を加えております。

2. 有価証券の評価基準及び評価方法

（1） 有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法（定額法）、子会社株式及び関連会社株式については移動平均法による原価法、その他有価証券のうち株式については決算期末月1カ月平均に基づいた市場価格等に基づく時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、株式以外については原則として決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、ただし時価を把握することが極めて困難と認められるものについては、移動平均法による原価法により行っております。

なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

（2） 金銭の信託において信託財産を構成している有価証券の評価は、上記（1）と同じ方法により行っております。

3. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法

デリバティブ取引（特定取引目的の取引を除く。）の評価は、時価法により行っております。

4. 固定資産の減価償却の方法

（1）有形固定資産（リース資産を除く）

有形固定資産は、定額法を採用しております。

また、主な耐用年数は次のとおりであります。

建　物　3年～60年

その他　2年～20年

（2）無形固定資産（リース資産を除く）

無形固定資産は、定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウエアについては、当社内における利用可能期間（5年）に基づいて償却しております。

（3）リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る「有形固定資産」及び「無形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法により償却しております。

5. 繰延資産の処理方法

社債発行費は、支出時に全額費用として処理しております。

6. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建資産・負債及び海外支店勘定は、取得時の為替相場による円換算額を付す子会社株式及び関連会社株式を除き、主として決算日の為替相場による円換算額を付しております。

7. 引当金の計上基準

（1）貸倒引当金

貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。

破産、特別清算等法的に経営破綻の事実が発生している債務者（以下、「破綻先」という。）に係る債権及びそれと同等の状況にある債務者（以下、「実質破綻先」という。）に係る債権については、以下のなお書きに記載されている直接減額後の帳簿価額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現在は経営破綻の状況にないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者（以下、「破綻懸念先」という。）に係る債権については、債権額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。

破綻懸念先及び貸出条件緩和債権等を有する債務者並びにその他今後の管理に注意を要する債務者のうち一定範囲に区分される信用リスクを有する債務者で、与信額が一定額以上の大口債務者に対する債権のうち、債権の元本の回収及び利息の受取りに係るキャッシュ・フローを合理的に見積ることができるものについては、当該キャッシュ・フローを貸出条件緩和実施前の約定利子率等で割引いた金額と債権の帳簿価額との差額を貸倒引当金とする方法（キャッシュ・フロー見積法）により計上しております。

上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率等に基づき計上しております。

すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、営業店及び審査各部が資産査定を実施し、当該部署から独立したリスク統括部が査定結果を検証しております。

なお、破綻先及び実質破綻先に対する担保・保証付債権等については、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しており、その金額は13,840百万円であります。

（2）賞与引当金

賞与引当金は、従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当事業年度に帰属する額を計上しております。

（3）役員賞与引当金

役員賞与引当金は、役員への賞与の支払いに備えるため、役員に対する賞与の支給見込額のうち、当事業年度に帰属する額を計上しております。

（4）退職給付引当金

退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、必要額を計上しております。また、退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。なお、過去勤務費用及び数理計算上の差異の損益処理方法は次のとおりであります。

過去勤務費用：その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（10年）による定額法により損益処理

数理計算上の差異：各事業年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（8～10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から損益処理

（5）睡眠預金払戻損失引当金

睡眠預金払戻損失引当金は、一定の条件を満たし負債計上を中止した預金について、預金者からの払戻請求に備えるため、過去の払戻実績に基づく将来の払戻損失見込額を計上しております。

（6）偶発損失引当金

偶発損失引当金は、オフバランス取引や信託取引等に関して発生する損失に備えるため、将来発生する可能性のある損失を見積り、必要と認められる額を計上しております。

8. ヘッジ会計の方法

(1) 金利リスク・ヘッジ

金融資産・負債から生じる金利リスクに対するヘッジ会計の方法は、主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号　平成14年2月13日。以下、「業種別監査委員会報告第24号」という。）に規定する繰延ヘッジによっております。ヘッジ有効性評価の方法については、相場変動を相殺するヘッジについて、ヘッジ対象となる預金・貸出金等とヘッジ手段である金利スワップ取引等を一定の残存期間毎にグルーピングのうえ特定し評価しております。また、キャッシュ・フローを固定するヘッジについては、ヘッジ対象とヘッジ手段の金利変動要素の相関関係の検証により有効性の評価をしております。

また、当事業年度末の貸借対照表に計上している繰延ヘッジ損益のうち、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第15号）を適用して実施しておりました多数の貸出金・預金等から生じる金利リスクをデリバティブ取引を用いて総体で管理する従来の「マクロヘッジ」に基づく繰延ヘッジ損益は、「マクロヘッジ」で指定したそれぞれのヘッジ手段の残存期間に応じ期間配分しております。

なお、当事業年度末における「マクロヘッジ」に基づく繰延ヘッジ損失は145百万円（税効果額控除前）であります。

(2) 為替変動リスク・ヘッジ

外貨建金融資産・負債から生じる為替変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号　平成14年7月29日。以下、「業種別監査委員会報告第25号」という。）に規定する繰延ヘッジによっております。ヘッジ有効性評価の方法については、外貨建金銭債権債務等の為替変動リスクを減殺する目的で行う通貨スワップ取引及び為替スワップ取引等をヘッジ手段とし、ヘッジ対象である外貨建金銭債権債務等に見合うヘッジ手段の外貨ポジション相当額が存在することを確認することによりヘッジの有効性を評価しております。

また、外貨建有価証券（債券以外）の為替変動リスクをヘッジするため、事前にヘッジ対象となる外貨建有価証券の銘柄を特定し、当該外貨建有価証券について外貨ベースで取得原価以上の直先負債が存在していること等を条件に包括ヘッジとして時価ヘッジを適用しております。

外貨建子会社株式及び関連会社株式の為替変動リスクをヘッジするため、同一通貨の為替予約をヘッジ手段として個別ヘッジを行っており、繰延ヘッジとして処理する方法を適用しております。

(3) 株価変動リスク・ヘッジ

その他有価証券のうち一部の株式から生じる株価変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、時価ヘッジによっており、当該個別ヘッジに係るヘッジ対象とヘッジ手段の時価変動額を比較する比率分析により有効性の評価をしております。

(4) 内部取引等

デリバティブ取引のうち特定取引勘定とそれ以外の勘定との間の内部取引については、ヘッジ手段として指定している金利スワップ取引及び通貨スワップ取引等に対して、業種別監査委員会報告第24号及び同第25号に基づき、恣意性を排除し厳格なヘッジ運営が可能と認められる対外カバー取引の基準に準拠した運営を行っているため、当該金利スワップ取引及び通貨スワップ取引等から生じる収益及び費用は消去せずに損益認識又は繰延処理を行っております。

なお、一部の資産・負債については、個別取引毎の繰延ヘッジを行っております。

9. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 退職給付に係る会計処理

退職給付に係る未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の未処理額の会計処理の方法は、連結財務諸表におけるこれらの会計処理の方法と異なっております。

(2) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税（以下、「消費税等」という。）の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、資産の取得に係る控除対象外消費税等は、当事業年度の費用に計上しております。

（追加情報）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号　平成28年3月28日）を当事業年度から適用しております。

（貸借対照表関係）

1. 関係会社の株式又は出資金の総額

株式	512,460百万円
出資金	33,158百万円

2. 無担保の消費貸借契約により借り入れている有価証券及び現先取引並びに現金担保付債券貸借取引等により受け入れている有価証券のうち、売却又は（再）担保という方法で自由に処分できる権利を有する有価証券は次のとおりであります。

再貸付けに供している有価証券	866,678百万円
当事業年度末に当該処分をせずに所有している有価証券	48,103百万円

3. 貸出金のうち破綻先債権額及び延滞債権額は次のとおりであります。

破綻先債権額	1,003百万円
延滞債権額	33,945百万円

なお、破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除く。以下、「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金であります。

また、延滞債権とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金であります。

4. 貸出金のうち、3カ月以上延滞債権額は次のとおりであります。

3カ月以上延滞債権額	191百万円

なお、3カ月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸出金で破綻先債権及び延滞債権に該当しないものであります。

5. 貸出金のうち、貸出条件緩和債権額は次のとおりであります。

貸出条件緩和債権額	27,551百万円

なお、貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破綻先債権、延滞債権及び3カ月以上延滞債権に該当しないものであります。

6. 破綻先債権額、延滞債権額、3カ月以上延滞債権額及び貸出条件緩和債権額の合計額は次のとおりであります。

合計額	62,691百万円

なお、上記3.から6.に掲げた債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。

7. 手形割引は、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号　平成14年2月13日）に基づき金融取引として処理しております。これにより受け入れた商業手形は、売却又は（再）担保という方法で自由に処分できる権利を有しておりますが、その額面金額は次のとおりであります。

2,299百万円

財務諸表

8. 担保に供している資産は次のとおりであります。

担保に供している資産

特定取引資産	16,987百万円
有価証券	889,375百万円
貸出金	3,624,556百万円
その他資産	29,604百万円
計	4,560,523百万円

担保資産に対応する債務

預金	25,784百万円
売現先勘定	685,264百万円
債券貸借取引受入担保金	13,699百万円
借用金	2,000,645百万円

上記のほか、為替決済等の取引の担保あるいは先物取引証拠金等の代用として、次のものを差し入れております。

有価証券	626,641百万円

また、その他の資産には、保証金が含まれておりますが、その金額は次のとおりであります。

保証金	20,721百万円

9. 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は次のとおりであります。

融資未実行残高	13,485,201百万円
うち原契約期間が1年以内のもの（又は任意の時期に無条件で取消可能なもの）	10,031,311百万円

なお、これらの契約の多くは、融資実行されずに終了するものであるため、融資未実行残高そのものが必ずしも当社の将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。これらの契約の多くには、金融情勢の変化、債権の保全及びその他相当の事由があるときは、当社が実行申し込みを受けた融資の拒絶又は契約極度額の減額をすることができる旨の条項が付けられております。また、契約時において必要に応じて不動産・有価証券等の担保を徴求するほか、契約後も定期的に予め定めている社内手続に基づき顧客の業況等を把握し、必要に応じて契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。

10. 有形固定資産の圧縮記帳額

圧縮記帳額	27,608百万円
（当事業年度の圧縮記帳額	—百万円）

11. 借入金には、他の債務よりも債務の履行が後順位である旨の特約が付された劣後特約付借入金が含まれております。

劣後特約付借入金	618,100百万円
うち実質破綻時債務免除特約付劣後借入金	360,000百万円

12. 社債には、劣後特約付社債が含まれております。

劣後特約付社債	350,591百万円

13. 「有価証券」中の社債のうち、有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）による社債に対する保証債務の額 109,176百万円

14. 元本補てん契約のある信託の元本金額は、次のとおりであります。

金銭信託	3,882,168百万円
貸付信託	10,262百万円

（損益計算書関係）

1. 営業経費には、次のものを含んでおります。

給料・手当	101,665百万円
外部委託費	23,735百万円

2. その他の経常費用には、次のものを含んでおります。

組合等出資金損失	3,076百万円

（株主資本等変動計算書関係）

「その他利益剰余金」について合計額により記載しておりますが、その内訳は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	平成28年3月31日残高	当事業年度中の変動額	平成29年3月31日残高
別途準備金	371,870	—	371,870
繰越利益剰余金	540,355	23,476	563,832

（有価証券関係）

時価のある子会社株式及び関連会社株式はありません。

なお、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められる子会社株式及び関連会社株式の貸借対照表計上額は次のとおりであります。

（単位：百万円）

子会社株式	500,407
関連会社株式	45,211
合計	545,618

子会社及び関連会社に対する出資金を含めております。

（税効果会計関係）

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
有価証券償却有税分	26,311百万円
貸倒引当金損金算入限度超過額（貸出金償却含む）	28,879百万円
繰延ヘッジ損益	6,992百万円
その他	32,449百万円
繰延税金資産小計	94,632百万円
評価性引当額	△14,428百万円
繰延税金資産合計	80,203百万円
繰延税金負債	
退職給付関係	△10,152百万円
その他有価証券評価差額金	△212,008百万円
その他	△5,140百万円
繰延税金負債合計	△227,301百万円
繰延税金資産（△は負債）の純額	△147,097百万円

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主な項目別の内訳

当事業年度については、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の５以下であるため、注記を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

有価証券関係

※貸借対照表の「国債」「地方債」「社債」「株式」「その他の証券」のほか、「商品有価証券」、「その他の特定取引資産」中の短期社債、並びに「買入金銭債権」中の貸付債権信託受益権等を含めて記載しております。

(1) 売買目的有価証券

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
当事業年度の損益に含まれた評価差額	58	**△88**

(2) 満期保有目的の債券

（単位：百万円）

	種類	平成28年3月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	190,386	214,620	24,233
	地方債	—	—	—
	短期社債	—	—	—
	社債	21,380	21,653	273
	その他	102,315	114,754	12,439
	外国債券	84,812	96,964	12,152
	その他	17,503	17,790	287
	小計	314,082	351,028	36,945
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—
	地方債	—	—	—
	短期社債	—	—	—
	社債	—	—	—
	その他	18,107	18,089	△17
	外国債券	17,931	17,913	△17
	その他	175	175	—
	小計	18,107	18,089	△17
合計		332,190	369,118	36,928

（単位：百万円）

	種類	平成29年3月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	**139,988**	**160,047**	**20,059**
	地方債	**—**	**—**	**—**
	短期社債	**—**	**—**	**—**
	社債	**20,141**	**20,359**	**218**
	その他	**84,045**	**90,683**	**6,638**
	外国債券	**72,414**	**79,026**	**6,612**
	その他	**11,631**	**11,657**	**25**
	小計	**244,174**	**271,090**	**26,916**
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	**—**	**—**	**—**
	地方債	**—**	**—**	**—**
	短期社債	**—**	**—**	**—**
	社債	**9,000**	**8,937**	**△62**
	その他	**10,257**	**10,250**	**△6**
	外国債券	**9,607**	**9,600**	**△6**
	その他	**650**	**650**	**—**
	小計	**19,257**	**19,188**	**△68**
合計		**263,432**	**290,279**	**26,847**

有価証券関係

(3) 子会社株式及び関連会社株式

時価のある子会社株式及び関連会社株式はありません。

また、時価を把握することが極めて困難と認められる子会社株式及び関連会社株式の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	平成28年3月末
	貸借対照表計上額
子会社株式	508,530
関連会社株式	32,584
合計	541,115

（単位：百万円）

	平成29年3月末
	貸借対照表計上額
子会社株式	**500,407**
関連会社株式	**45,211**
合計	**545,618**

(4) その他有価証券

（単位：百万円）

	種類	平成28年3月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	1,221,461	569,101	652,360
	債券	942,436	937,198	5,238
	国債	501,148	499,869	1,278
	地方債	3,316	3,283	32
	短期社債	—	—	—
	社債	437,971	434,044	3,927
	その他	1,473,493	1,396,231	77,261
	外国株式	2,377	1,561	815
	外国債券	850,244	837,691	12,553
	その他	620,870	556,978	63,892
	小計	3,637,391	2,902,530	734,861
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	76,683	98,063	△21,379
	債券	374,312	378,396	△4,084
	国債	70,018	70,022	△4
	地方債	1,529	1,534	△4
	短期社債	—	—	—
	社債	302,764	306,840	△4,075
	その他	293,907	306,580	△12,673
	外国株式	16,222	19,773	△3,551
	外国債券	184,057	184,899	△841
	その他	93,627	101,908	△8,280
	小計	744,903	783,040	△38,137
合計		4,382,295	3,685,571	696,723

（注）時価を把握することが極めて困難と認められる主なその他有価証券

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額
非上場株式	47,482
組合出資金	53,107
その他	5,906
合計	106,496

非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから上表の「その他有価証券」には含めておりません。
なお、当事業年度において、非上場株式について227百万円、その他について0百万円減損処理を行っております。
組合出資金のうち、組合財産が非上場株式など時価を把握することが極めて困難と認められるもので構成されているもの等については、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

（単位：百万円）

	種類	平成29年3月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	1,321,288	553,031	768,257
	債券	461,873	458,667	3,206
	国債	101	101	0
	地方債	2,233	2,216	17
	短期社債	—	—	—
	社債	459,538	456,350	3,188
	その他	747,069	734,880	12,188
	外国株式	9,957	8,836	1,120
	外国債券	687,418	681,599	5,818
	その他	49,693	44,444	5,249
	小計	2,530,230	1,746,579	783,651
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	72,650	86,673	△14,022
	債券	417,995	420,950	△2,955
	国債	170,264	170,365	△100
	地方債	2,557	2,586	△28
	短期社債	—	—	—
	社債	245,173	247,999	△2,826
	その他	1,604,519	1,667,142	△62,622
	外国株式	10,510	11,441	△931
	外国債券	676,165	697,182	△21,016
	その他	917,843	958,518	△40,674
	小計	2,095,166	2,174,766	△79,600
合計		4,625,396	3,921,346	704,050

（注）時価を把握することが極めて困難と認められる主なその他有価証券

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額
非上場株式	56,929
組合出資金	53,667
その他	10,864
合計	121,461

非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから上表の「その他有価証券」には含めておりません。
なお、当事業年度において、非上場株式について3,137百万円、その他について2百万円減損処理を行っております。
組合出資金のうち、組合財産が非上場株式など時価を把握することが極めて困難と認められるもので構成されているもの等については、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(5) 当事業年度中に売却した満期保有目的の債券

平成27年度

該当ありません。

平成28年度

該当ありません。

有価証券関係

(6) 当事業年度中に売却したその他有価証券

（単位：百万円）

種類	平成27年度		
	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
株式	92,108	27,061	222
債券	219,681	3,833	174
国債	144,776	3,800	67
地方債	7,806	9	17
短期社債	—	—	—
社債	67,098	23	88
その他	2,906,664	53,723	10,121
外国債券	2,735,869	52,709	4,462
その他	170,795	1,014	5,659
合計	3,218,454	84,618	10,518

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券を含んでおります。

（単位：百万円）

種類	平成28年度		
	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
株式	**78,380**	**46,125**	**1,267**
債券	**318,513**	**1,977**	**361**
国債	**227,504**	**1,438**	**292**
地方債	**9,228**	**15**	**28**
短期社債	**—**	**—**	**—**
社債	**81,781**	**522**	**41**
その他	**3,372,374**	**19,707**	**122,765**
外国債券	**3,142,440**	**19,453**	**118,303**
その他	**229,934**	**254**	**4,461**
合計	**3,769,269**	**67,810**	**124,394**

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券を含んでおります。

(7) 保有目的を変更した有価証券

当連結会計年度中に、満期保有目的の債券8,821百万円(外国債券)について、米国金融規制改革法への対応のため売却を前提に、保有目的をその他有価証券に変更しております。

なお、当該債券については全て当連結会計年度中に売却が完了しており、この変更による連結財務諸表への影響はありません。

(8) 減損処理を行った有価証券

有価証券（売買目的有価証券を除く。）で時価のあるもののうち、当該有価証券の時価が取得原価に比べて著しく下落しており、時価が取得原価まで回復する見込みがあると認められないものについては、当該時価をもって貸借対照表計上額とするとともに、評価差額を当該事業年度の損失として処理（以下、「減損処理」という。）しております。

前事業年度における減損処理額は、株式3,487百万円、その他11百万円であります。

当事業年度における減損処理額は、株式679百万円であります。

また、時価が「著しく下落した」と判断するための基準は、資産の自己査定において、有価証券の発行会社の区分が正常先に該当するものについては、時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合とし、今後の管理に注意を要する要注意先以下に該当するものについては、時価が取得原価に比べ30%以上下落した場合であります。なお、一部の有価証券については、上記に加え、時価が取得原価に比べて30%以上50%未満下落し、かつ一定期間下落が継続している場合には、時価に回復可能性がないものとして減損処理を行っております。

金銭の信託関係

(1) 運用目的の金銭の信託
平成28年3月末
該当ありません。

平成29年3月末
該当ありません。

(2) 満期保有目的の金銭の信託
平成28年3月末
該当ありません。

平成29年3月末
該当ありません。

(3) その他の金銭の信託(運用目的及び満期保有目的以外)

(単位：百万円)

	平成28年3月末				
	貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	うち貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの
その他の金銭の信託	99	99	―	―	―

(注) 当事業年度末において、信託財産構成物に時価のある有価証券等は含まれておりません。

(単位：百万円)

	平成29年3月末				
	貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	うち貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの
その他の金銭の信託	**99**	**99**	**―**	**―**	**―**

(注) 当事業年度末において、信託財産構成物に時価のある有価証券等は含まれておりません。

その他有価証券評価差額金

平成27年度

（単位：百万円）

	平成28年3月末
評価差額	685,388
その他有価証券	685,388
その他の金銭の信託	—
（△）繰延税金負債	207,658
その他有価証券評価差額金	477,729

（注）1. 時価のない外貨建その他有価証券に係る為替換算差額及び投資事業組合等の評価差額については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。
2. 保有目的を変更した有価証券に関して変更時に生じた評価差額の期末における未償却残高については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。

平成28年度

（単位：百万円）

	平成29年3月末
評価差額	**699,632**
その他有価証券	**699,632**
その他の金銭の信託	**—**
（△）繰延税金負債	**212,008**
その他有価証券評価差額金	**487,623**

（注）1. 時価のない外貨建その他有価証券に係る為替換算差額及び投資事業組合等の評価差額については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。
2. 保有目的を変更した有価証券に関して変更時に生じた評価差額の期末における未償却残高については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。

デリバティブ取引関係

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

(1) 金利関連取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成28年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	金利先物				
	売建	45,249,251	14,813,892	△60,758	△60,758
	買建	43,087,805	13,133,651	56,151	56,151
	金利オプション				
	売建	2,389,802	107,556	△363	428
	買建	1,656,571	46,307	299	△378
店頭	金利先渡契約				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	55,480,375	45,350,484	2,382,182	2,382,182
	受取変動・支払固定	53,714,268	44,374,631	△2,300,241	△2,300,241
	受取変動・支払変動	6,657,076	6,022,090	6,140	6,140
	金利オプション				
	売建	5,526,509	5,367,603	△89,839	△57,574
	買建	3,038,329	2,934,950	61,861	43,246
	その他				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
合計		－	－	55,433	69,195

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

（単位：百万円）

区分	種類	平成29年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	金利先物				
	売建	47,877,278	21,805,067	21,853	21,853
	買建	46,948,398	20,150,198	△21,684	△21,684
	金利オプション				
	売建	2,375,805	159,806	△518	3
	買建	1,504,870	96,656	536	39
店頭	金利先渡契約				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	60,512,050	49,935,806	1,184,972	1,184,972
	受取変動・支払固定	59,977,847	48,455,485	△1,143,113	△1,143,113
	受取変動・支払変動	12,429,992	10,606,892	2,071	2,071
	金利オプション				
	売建	5,843,688	5,666,325	△15,052	6,969
	買建	3,047,232	2,895,927	19,657	10,303
	その他				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
合計		－	－	48,722	61,416

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

デリバティブ取引関係

(2) 通貨関連取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成28年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物				
	売建	–	–	–	–
	買建	–	–	–	–
	通貨オプション				
	売建	–	–	–	–
	買建	–	–	–	–
店頭	通貨スワップ	3,218,253	2,903,071	9,327	9,327
	為替予約				
	売建	10,173,574	611,767	38,474	38,474
	買建	10,272,224	593,724	△30,152	△30,152
	通貨オプション				
	売建	1,042,194	470,032	△46,385	△4,051
	買建	1,031,475	402,842	38,584	2,326
	その他				
	売建	–	–	–	–
	買建	–	–	–	–
合計		–	–	9,848	15,926

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

（単位：百万円）

区分	種類	平成29年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物				
	売建	–	–	–	–
	買建	–	–	–	–
	通貨オプション				
	売建	–	–	–	–
	買建	–	–	–	–
店頭	通貨スワップ	3,839,894	2,729,472	19,275	19,275
	為替予約				
	売建	10,443,253	494,399	△5,868	△5,868
	買建	12,762,769	457,261	14,759	14,759
	通貨オプション				
	売建	1,258,710	576,059	△45,547	8,880
	買建	1,138,819	521,704	41,528	△6,299
	その他				
	売建	–	–	–	–
	買建	–	–	–	–
合計		–	–	24,147	30,747

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

(3) 株式関連取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成28年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	株式指数先物				
	売建	227,139	ー	363	363
	買建	239,109	ー	△987	△987
	株式指数オプション				
	売建	47,106	ー	△141	211
	買建	40,253	ー	123	△129
店頭	有価証券店頭オプション				
	売建	ー	ー	ー	ー
	買建	ー	ー	ー	ー
	有価証券店頭指数等スワップ				
	株価指数等変化率受取・短期変動金利支払	5,000	5,000	328	328
	短期変動金利受取・株価指数等変化率支払	5,000	5,000	△328	△328
	その他				
	売建	ー	ー	ー	ー
	買建	ー	ー	ー	ー
合計		ー	ー	△642	△542

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、大阪取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

（単位：百万円）

区分	種類	平成29年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	株式指数先物				
	売建	**73,087**	**ー**	**△238**	**△238**
	買建	**58,961**	**ー**	**276**	**276**
	株式指数オプション				
	売建	**10,170**	**ー**	**△28**	**31**
	買建	**5,158**	**ー**	**12**	**△15**
店頭	有価証券店頭オプション				
	売建	**ー**	**ー**	**ー**	**ー**
	買建	**ー**	**ー**	**ー**	**ー**
	有価証券店頭指数等スワップ				
	株価指数等変化率受取・短期変動金利支払	**5,000**	**5,000**	**312**	**312**
	短期変動金利受取・株価指数等変化率支払	**5,000**	**5,000**	**△312**	**△312**
	その他				
	売建	**ー**	**ー**	**ー**	**ー**
	買建	**ー**	**ー**	**ー**	**ー**
合計		**ー**	**ー**	**21**	**54**

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、大阪取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

デリバティブ取引関係

(4) 債券関連取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成28年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	債券先物				
	売建	2,611,324	ー	△12,683	△12,683
	買建	2,320,413	ー	12,203	12,203
	債券先物オプション				
	売建	162,021	ー	△748	△176
	買建	179,198	ー	356	△190
店頭	債券先渡契約				
	売建	99,748	ー	△597	△597
	買建	138,847	ー	721	721
	債券店頭オプション				
	売建	14,022	ー	△93	△30
	買建	14,022	ー	19	△64
	その他				
	売建	ー	ー	ー	ー
	買建	ー	ー	ー	ー
合計		ー	ー	△823	△817

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、大阪取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、オプション価格計算モデル等により算定しております。

（単位：百万円）

区分	種類	平成29年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	債券先物				
	売建	**3,109,489**	**ー**	**△16,850**	**△16,850**
	買建	**2,879,426**	**ー**	**15,798**	**15,798**
	債券先物オプション				
	売建	**135,219**	**ー**	**△584**	**△128**
	買建	**118,317**	**ー**	**207**	**△18**
店頭	債券先渡契約				
	売建	**154,594**	**ー**	**△1,388**	**△1,388**
	買建	**117,864**	**ー**	**507**	**507**
	債券店頭オプション				
	売建	**6,871**	**ー**	**△51**	**△14**
	買建	**86,264**	**5,052**	**798**	**△336**
	その他				
	売建	**ー**	**ー**	**ー**	**ー**
	買建	**ー**	**ー**	**ー**	**ー**
合計		**ー**	**ー**	**△1,561**	**△2,430**

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、大阪取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、オプション価格計算モデル等により算定しております。

(5) 商品関連取引

平成28年3月末
該当ありません。

平成29年3月末
該当ありません。

(6) クレジット・デリバティブ取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成28年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・スワップ				
	売建	77,279	77,279	922	922
	買建	88,309	88,309	△1,669	△1,669
	その他				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
合計		―	―	△746	△746

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値により算定しております。
3. 「売建」は信用リスクの引受取引、「買建」は信用リスクの引渡取引であります。

（単位：百万円）

区分	種類	平成29年3月末			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・スワップ				
	売建	**80,288**	**79,288**	**1,640**	**1,640**
	買建	**125,188**	**124,188**	**△2,763**	**△2,763**
	その他				
	売建	**―**	**―**	**―**	**―**
	買建	**―**	**―**	**―**	**―**
合計		**―**	**―**	**△1,123**	**△1,123**

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値により算定しております。
3. 「売建」は信用リスクの引受取引、「買建」は信用リスクの引渡取引であります。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごと、ヘッジ会計の方法別の決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額及び時価並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

(1) 金利関連取引

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成28年3月末		
			契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	金利スワップ	貸出金、その他有価証券（債券）、預金、社債等の有利息の金融資産・負債			
	受取固定・支払変動		3,403,405	2,943,405	20,230
	受取変動・支払固定		770,654	741,921	△44,846
	金利先物				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
	金利オプション				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
	その他				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
合計			―	―	△24,616

（注）1. 主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号　平成14年2月13日）に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

デリバティブ取引関係

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成29年3月末		
			契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	金利スワップ	貸出金、その他有価証券（債券）、預金、社債等の有利息の金融資産・負債			
	受取固定・支払変動		**5,209,766**	**2,863,293**	**5,905**
	受取変動・支払固定		**1,083,504**	**1,051,113**	**△31,317**
	金利先物				
	売建		**－**	**－**	**－**
	買建		**－**	**－**	**－**
	金利オプション				
	売建		**－**	**－**	**－**
	買建		**－**	**－**	**－**
	その他				
	売建		**－**	**－**	**－**
	買建		**－**	**－**	**－**
合計			**－**	**－**	**△25,412**

（注）1. 主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号　平成14年2月13日）に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

（2） 通貨関連取引

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成28年3月末		
			契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	通貨スワップ	外貨建の貸出金、有価証券等	4,803,548	2,430,675	△33,544
	為替予約				
	売建		37,834	－	621
	買建		6,202	－	△294
	その他				
	売建		－	－	－
	買建		－	－	－
合計			－	－	△33,216

（注）1. 主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号　平成14年7月29日）に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値等により算定しております。

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成29年3月末		
			契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	通貨スワップ	外貨建の貸出金、有価証券等	**3,873,763**	**1,887,999**	**43,328**
	為替予約				
	売建		**38,974**	**－**	**44**
	買建		**10,108**	**－**	**△114**
	その他				
	売建		**－**	**－**	**－**
	買建		**－**	**－**	**－**
合計			**－**	**－**	**43,259**

（注）1. 主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号　平成14年7月29日）に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値等により算定しております。

(3) 株式関連取引

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成28年3月末		
			契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
ヘッジ対象に係る損益を認識する方法	有価証券指数等スワップ				
	株価指数等変化率受取・短期変動金利支払	その他有価証券（株式）	－	－	－
	短期変動金利受取・株価指数等変化率支払		848	－	△17
合計			－	－	△17

（注）時価の算定
割引現在価値により算定しております。

平成29年3月末
該当ありません。

(4) 債券関連取引
平成28年3月末
該当ありません。

平成29年3月末
該当ありません。

損益の状況

業務粗利益

（単位：百万円）

	平成27年度			平成28年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
信託報酬	100,288	ー	100,288	**94,289**	**ー**	**94,289**
資金運用収支	151,169	60,943	212,113	**141,072**	**62,179**	**203,251**
資金運用収益			10,344			**7,094**
	225,680	142,128	357,465	**206,842**	**170,882**	**370,630**
資金調達費用			10,344			**7,094**
	74,511	81,184	145,351	**65,770**	**108,703**	**167,378**
役務取引等収支	102,247	9,256	111,504	**112,787**	**3,347**	**116,135**
役務取引等収益	173,032	15,160	188,193	**189,655**	**11,072**	**200,728**
役務取引等費用	70,785	5,903	76,688	**76,868**	**7,724**	**84,593**
特定取引収支	23,598	△8,063	15,535	**15,366**	**1,674**	**17,040**
特定取引収益	24,577	550	15,964	**16,441**	**1,897**	**18,338**
特定取引費用	978	8,613	428	**1,074**	**223**	**1,297**
その他業務収支	△4,776	50,676	45,900	**7,027**	**△54,395**	**△47,368**
その他業務収益	4,684	69,435	74,119	**7,404**	**64,710**	**72,114**
その他業務費用	9,460	18,758	28,219	**376**	**119,106**	**119,483**
業務粗利益	372,529	112,813	485,343	**370,543**	**12,805**	**383,349**
業務粗利益率（%）	1.20	0.94	1.18	**1.11**	**0.10**	**0.87**
業務純益			249,184			**150,552**

（注）1. 国内業務部門は国内店の円建取引、国際業務部門は国内店の外貨建取引及び海外店の取引であります。
ただし、円建対非居住者取引、特別国際金融取引勘定分等は国際業務部門に含めております（以下の各表も同様であります）。
2. 資金調達費用は金銭の信託運用見合費用（平成27年度0百万円、平成28年度0百万円）を控除して表示しております。
3. 資金運用収益及び資金調達費用の合計欄の上段の計数は、国内部門と国際部門の間の資金貸借の利息に、金利スワップ利息等の純額表示に伴う影響額（平成27年度6,104百万円、平成28年度4,879百万円）を加えた金額を記載しております。下段の計数は、国内部門と国際部門の合算から上段の計数を減算した値であります。
4. 平成27年度の特定取引収益及び特定取引費用の合計欄の計数は、特定取引金融派生商品損益等の純額表示に伴い、国内部門と国際部門の合算を9,163百万円下回っております。
5. 業務粗利益率＝$\frac{\text{業務粗利益}}{\text{資金運用勘定平均残高}}$×100

資金運用・調達勘定平均残高、利息、利回り

（1） 国内業務部門

（単位：百万円）

	平成27年度			平成28年度		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定（A）	(1,890,267) 31,001,734	(10,344) 225,680	0.72%	**(1,255,926)** **33,103,167**	**(7,094)** **206,842**	**0.62%**
うち貸出金	18,696,535	158,648	0.84	**20,054,459**	**147,735**	**0.73**
うち有価証券	3,127,757	49,918	1.59	**3,086,399**	**47,134**	**1.52**
うちコールローン	162,193	114	0.07	**108,478**	**△36**	**△0.03**
うち債券貸借取引支払保証金	118,069	18	0.01	**81,591**	**7**	**0.00**
うち買入金銭債権	87,851	159	0.18	**71,241**	**△793**	**△1.11**
うち預け金	6,388,758	6,158	0.09	**8,116,895**	**5,743**	**0.07**
資金調達勘定（B）	30,562,654	74,511	0.24	**32,421,461**	**65,770**	**0.20**
うち預金	21,159,618	43,652	0.20	**22,867,505**	**37,015**	**0.16**
うち譲渡性預金	3,638,762	2,931	0.08	**2,872,120**	**532**	**0.01**
うちコールマネー	481,275	404	0.08	**1,005,680**	**△359**	**△0.03**
うち売現先勘定	ー	ー	ー	**ー**	**ー**	**ー**
うち債券貸借取引受入担保金	19,520	7	0.03	**71,142**	**7**	**0.01**
うち借用金	1,838,126	7,501	0.40	**2,078,298**	**7,860**	**0.37**

（注）1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高（平成27年度477,857百万円、平成28年度252,701百万円）を、資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高（平成27年度84百万円、平成28年度99百万円）及び利息（平成27年度0百万円、平成28年度0百万円）を、それぞれ控除して表示しております。
2. 平均残高の（ ）内は、国内部門と国際部門の間の資金貸借の平均残高を記載しており、利息の（ ）内は、国内部門と国際部門の間の資金貸借の利息に金利スワップ利息等の純額表示に伴う影響額（平成27年度6,104百万円、平成28年度4,879百万円）を加えた金額を記載しております。

資金運用・調達勘定平均残高、利息、利回り

(2) 国際業務部門

(単位：百万円)

	平成27年度			平成28年度		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定（A）	11,959,403	142,128	1.18%	**11,991,483**	**170,882**	**1.42%**
うち貸出金	6,990,067	90,774	1.29	**7,233,189**	**118,713**	**1.64**
うち有価証券	2,010,012	38,870	1.93	**2,051,329**	**35,487**	**1.73**
うちコールローン	41,985	335	0.79	**89,957**	**1,100**	**1.22**
うち債券貸借取引支払保証金	326,046	—	—	**406,243**	**—**	**—**
うち買入金銭債権	16,163	497	3.07	**21,789**	**578**	**2.65**
うち預け金	2,367,274	10,039	0.42	**1,958,559**	**12,668**	**0.64**
資金調達勘定（B）	(1,890,267) 11,736,942	(10,344) 81,184	0.69	**(1,255,926)** **12,016,509**	**(7,094)** **108,703**	**0.90**
うち預金	3,773,837	19,632	0.52	**4,559,381**	**41,325**	**0.90**
うち譲渡性預金	3,491,362	13,644	0.39	**3,470,038**	**27,346**	**0.78**
うちコールマネー	174,362	1,348	0.77	**99,403**	**1,743**	**1.75**
うち売現先勘定	1,209,373	4,403	0.36	**1,307,741**	**8,230**	**0.62**
うち債券貸借取引受入担保金	—	—	—	**1,784**	**16**	**0.94**
うち借用金	420,242	7,743	1.84	**527,896**	**10,387**	**1.96**

(注) 1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高（平成27年度42,848百万円、平成28年度26,232百万円）を控除して表示しております。
2. 平均残高の（　）内は、国内部門と国際部門の間の資金貸借の平均残高を記載しており、利息の（　）内は、国内部門と国際部門の間の資金貸借の利息に金利スワップ利息等の純額表示に伴う影響額（平成27年度6,104百万円、平成28年度4,879百万円）を加えた金額を記載しております。
3. 国際業務部門の国内店外貨建取引の平均残高は日次カレント方式（日々のTT仲値を当日のノンエクスチェンジ取引に適用する方式）により算出しております。

(3) 合計

(単位：百万円)

	平成27年度			平成28年度		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定（A）	41,070,870	357,465	0.87%	**43,838,724**	**370,630**	**0.84%**
うち貸出金	25,686,602	249,422	0.97	**27,287,649**	**266,449**	**0.97**
うち有価証券	5,137,769	88,788	1.72	**5,137,728**	**82,622**	**1.60**
うちコールローン	204,179	449	0.22	**198,435**	**1,063**	**0.53**
うち債券貸借取引支払保証金	444,116	18	0.00	**487,834**	**7**	**0.00**
うち買入金銭債権	104,014	656	0.63	**93,031**	**△215**	**△0.23**
うち預け金	8,756,033	16,198	0.18	**10,075,455**	**18,411**	**0.18**
資金調達勘定（B）	40,409,329	145,351	0.35	**43,182,044**	**167,378**	**0.38**
うち預金	24,933,455	63,284	0.25	**27,426,886**	**78,340**	**0.28**
うち譲渡性預金	7,130,125	16,575	0.23	**6,342,158**	**27,879**	**0.43**
うちコールマネー	655,637	1,753	0.26	**1,105,083**	**1,383**	**0.12**
うち売現先勘定	1,209,373	4,403	0.36	**1,307,741**	**8,230**	**0.62**
うち債券貸借取引受入担保金	19,520	7	0.03	**72,927**	**24**	**0.03**
うち借用金	2,258,369	15,244	0.67	**2,606,194**	**18,247**	**0.70**

(注) 1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高（平成27年度520,706百万円、平成28年度278,934百万円）を、資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高（平成27年度84百万円、平成28年度99百万円）及び利息（平成27年度0百万円、平成28年度0百万円）を、それぞれ控除して表示しております。
2. 国内部門と国際部門の間の資金貸借の平均残高及び利息並びに金利スワップ利息等は、相殺して記載しております。

利鞘

(単位：%)

	平成27年度			平成28年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用利回り（A）	0.72	1.18	0.87	**0.62**	**1.42**	**0.84**
資金調達利回り（B）	0.24	0.69	0.35	**0.20**	**0.90**	**0.38**
資金粗利鞘（A）－（B）	0.48	0.49	0.52	**0.42**	**0.52**	**0.46**

損益の状況

受取・支払利息の分析

(1) 国内業務部門

（単位：百万円）

	平成27年度			平成28年度		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	13,777	△24,955	△11,177	**13,130**	**△31,969**	**△18,838**
うち貸出金	3,367	△15,665	△12,297	**10,003**	**△20,916**	**△10,913**
うち有価証券	△43	3,091	3,047	**△631**	**△2,152**	**△2,783**
うちコールローン	△31	△112	△143	**18**	**△169**	**△151**
うち債券貸借取引支払保証金	9	△47	△37	**△3**	**△7**	**△10**
うち買入金銭債権	△44	△377	△421	**184**	**△1,137**	**△952**
うち預け金	1,188	△184	1,004	**1,222**	**△1,638**	**△415**
支払利息	4,668	△10,549	△5,880	**3,770**	**△12,511**	**△8,741**
うち預金	453	△9,340	△8,887	**2,764**	**△9,401**	**△6,637**
うち譲渡性預金	74	△358	△283	**△142**	**△2,255**	**△2,398**
うちコールマネー	237	△18	219	**△187**	**△576**	**△764**
うち売現先勘定	—	—	—	**—**	**—**	**—**
うち債券貸借取引受入担保金	△2	△6	△9	**5**	**△5**	**0**
うち借用金	1,936	△712	1,223	**908**	**△549**	**358**

（注）残高及び利率の増減要因が重なる部分については、残高による増減に含めて表示しております。

(2) 国際業務部門

（単位：百万円）

	平成27年度			平成28年度		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	17,263	△5,547	11,715	**457**	**28,297**	**28,754**
うち貸出金	11,273	△602	10,671	**3,990**	**23,949**	**27,939**
うち有価証券	3,486	△4,302	△816	**714**	**△4,097**	**△3,382**
うちコールローン	△309	△284	△594	**587**	**178**	**765**
うち債券貸借取引支払保証金	—	—	—	**—**	**—**	**—**
うち買入金銭債権	123	5	129	**149**	**△68**	**81**
うち預け金	1,586	378	1,964	**△2,643**	**5,272**	**2,628**
支払利息	9,573	9,167	18,740	**2,529**	**24,989**	**27,518**
うち預金	3,141	1,683	4,824	**7,120**	**14,573**	**21,693**
うち譲渡性預金	1,432	4,185	5,617	**△168**	**13,869**	**13,701**
うちコールマネー	△395	69	△326	**△1,314**	**1,709**	**394**
うち売現先勘定	596	2,660	3,256	**619**	**3,208**	**3,827**
うち債券貸借取引受入担保金	△0	—	△0	**16**	**—**	**16**
うち借用金	1,140	△424	715	**2,118**	**525**	**2,643**

（注）残高及び利率の増減要因が重なる部分については、残高による増減に含めて表示しております。

(3) 合計

（単位：百万円）

	平成27年度			平成28年度		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	27,214	△24,882	2,331	**23,400**	**△10,235**	**13,165**
うち貸出金	12,283	△13,909	△1,626	**15,633**	**1,393**	**17,026**
うち有価証券	3,068	△837	2,231	**0**	**△6,165**	**△6,166**
うちコールローン	△184	△553	△738	**△30**	**645**	**614**
うち債券貸借取引支払保証金	3	△40	△37	**0**	**△11**	**△10**
うち買入金銭債権	△130	△162	△292	**25**	**△896**	**△871**
うち預け金	2,972	△4	2,968	**2,411**	**△197**	**2,213**
支払利息	11,080	3,573	14,654	**10,747**	**11,279**	**22,026**
うち預金	2,090	△6,152	△4,062	**7,122**	**7,934**	**15,056**
うち譲渡性預金	1,068	4,266	5,334	**△3,463**	**14,767**	**11,303**
うちコールマネー	619	△726	△106	**562**	**△932**	**△369**
うち売現先勘定	596	2,660	3,256	**619**	**3,208**	**3,827**
うち債券貸借取引受入担保金	△2	△7	△9	**17**	**0**	**16**
うち借用金	3,620	△1,681	1,938	**2,435**	**567**	**3,002**

（注）残高及び利率の増減要因が重なる部分については、残高による増減に含めて表示しております。

役務取引の状況

（単位：百万円）

	平成27年度			平成28年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
役務取引等収益	173,032	15,160	188,193	**189,655**	**11,072**	**200,728**
うち信託関連業務	66,551	576	67,128	**80,878**	**667**	**81,546**
うち預金・貸出業務	26,498	11,948	38,446	**36,137**	**7,791**	**43,929**
うち為替業務	1,276	209	1,486	**1,234**	**210**	**1,445**
うち証券関連業務	43,864	368	44,232	**40,116**	**766**	**40,882**
うち代理業務	21,061	—	21,061	**16,808**	**—**	**16,808**
うち保護預り・貸金庫業務	522	—	522	**519**	**—**	**519**
うち保証業務	911	484	1,395	**892**	**460**	**1,353**
役務取引等費用	70,785	5,903	76,688	**76,868**	**7,724**	**84,593**
うち為替業務	653	121	775	**623**	**155**	**778**

特定取引の状況

（単位：百万円）

	平成27年度			平成28年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
特定取引収益	24,577	550	15,964	**16,441**	**1,897**	**18,338**
うち商品有価証券収益	927	—	927	**—**	**—**	**—**
うち特定取引有価証券収益	—	550	—	**—**	**—**	**—**
うち特定金融派生商品収益	23,445	—	14,831	**16,385**	**1,897**	**18,282**
うちその他の特定取引収益	204	—	204	**55**	**—**	**55**
特定取引費用	978	8,613	428	**1,074**	**223**	**1,297**
うち商品有価証券費用	—	—	—	**258**	**—**	**258**
うち特定取引有価証券費用	978	—	428	**816**	**223**	**1,039**
うち特定金融派生商品費用	—	8,613	—	**—**	**—**	**—**
うちその他の特定取引費用	—	—	—	**—**	**—**	**—**

（注）1. 内訳科目はそれぞれの収益と費用を相殺し、収益が上回った場合には収益欄に、費用が上回った場合には費用欄に、上回った純額を計上しております。
2. 平成27年度の特定取引収益及び特定取引費用の合計欄の計数は、特定取引有価証券損益等の純額表示に伴い、国内部門と国際部門の合算を9,163百万円下回っております。うち特定取引有価証券収益及び費用の合計欄の計数は、特定取引有価証券損益の純額表示に伴い、国内部門と国際部門の合算を550百万円下回っており、特定金融派生商品収益及び費用の合計額の計数は、特定金融派生商品損益の純額表示に伴い、国内部門と国際部門の合算を8,613百万円下回っております。

その他業務利益の内訳

（単位：百万円）

	平成27年度			平成28年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
外国為替売買損益	—	16,500	16,500	**—**	**28,608**	**28,608**
国債等債券売却損益	3,658	48,073	51,732	**1,615**	**△98,574**	**△96,958**
その他	△8,434	△13,897	△22,332	**5,412**	**15,570**	**20,982**
合計	△4,776	50,676	45,900	**7,027**	**△54,395**	**△47,368**

損益の状況

営業経費の内訳

（単位：百万円）

	平成27年度	平成28年度
給料・手当	101,395	**101,665**
退職給付費用	6,821	**18,876**
福利厚生費	16,541	**16,519**
減価償却費	19,620	**21,562**
土地建物機械賃借料	18,490	**17,534**
営繕費	579	**474**
消耗品費	1,983	**1,508**
給水光熱費	1,955	**1,518**
旅費	1,856	**1,802**
通信費	5,510	**5,324**
広告宣伝費	3,455	**2,734**
租税公課	12,861	**13,545**
その他	60,916	**59,400**
合計	251,989	**262,466**

利益率

（単位：%）

		平成27年度	平成28年度
総資産利益率	経常利益率	0.51	**0.25**
	当期純利益率	0.33	**0.17**
資本利益率	経常利益率	9.69	**5.10**
	当期純利益率	6.34	**3.38**

（注）1. 総資産利益率＝$\dfrac{\text{利益}}{\text{総資産（除く支払承諾見返）平均残高}}\times 100$

2. 資本利益率＝$\dfrac{\text{利益－優先株式配当金額}}{\text{[（期首自己資本－期首の控除する金額＊）＋（期末自己資本－期末の控除する金額＊）]÷2}}\times 100$

＊優先株式発行金額及び優先株式配当金額

銀行業務の状況

預金

(1) 期末残高

（単位：百万円、%）

	平成28年3月末			平成29年3月末		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
流動性預金	5,527,171 (21.7)	18,853 (0.2)	5,546,025 (16.4)	**6,125,113 (23.1)**	**140,693 (1.4)**	**6,265,806 (17.1)**
うち有利息預金	4,342,620 (17.0)	11,829 (0.1)	4,354,450 (12.9)	**4,918,130 (18.5)**	**130,319 (1.3)**	**5,048,449 (13.8)**
定期性預金	16,729,054 (65.6)	2,909,958 (35.4)	19,639,013 (58.3)	**17,211,044 (64.9)**	**4,297,373 (42.9)**	**21,508,417 (58.9)**
うち固定金利定期預金	16,198,777 (63.5)	2,909,709 (35.4)	19,108,487 (56.7)	**16,686,159 (62.9)**	**4,297,260 (42.9)**	**20,983,420 (57.4)**
うち変動金利定期預金	530,277 (2.1)	249 (0.0)	530,526 (1.6)	**524,884 (2.0)**	**112 (0.0)**	**524,996 (1.4)**
その他の預金	83,146 (0.3)	1,199,227 (14.6)	1,282,373 (3.8)	**65,752 (0.2)**	**1,179,347 (11.7)**	**1,245,099 (3.4)**
小計	22,339,372 (87.6)	4,128,040 (50.2)	26,467,412 (78.5)	**23,401,910 (88.2)**	**5,617,413 (56.0)**	**29,019,323 (79.4)**
譲渡性預金	3,157,923 (12.4)	4,096,208 (49.8)	7,254,132 (21.5)	**3,118,436 (11.8)**	**4,404,781 (44.0)**	**7,523,217 (20.6)**
合計	25,497,295	8,224,249	33,721,544	**26,520,346**	**10,022,194**	**36,542,541**

(注) 1. （　）内は構成比であります。
2. 流動性預金とは、当座預金、普通預金、貯蓄預金及び通知預金の合計であります。
3. 固定金利定期預金とは、預入時に満期日迄の利率が確定する定期預金であります。
4. 変動金利定期預金とは、預入期間中の市場金利の変化に応じて金利が変動する定期預金であります。

(2) 平均残高

（単位：百万円、%）

	平成27年度			平成28年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
流動性預金	4,614,860 (18.6)	11,147 (0.2)	4,626,008 (14.4)	**5,688,982 (22.1)**	**35,305 (0.4)**	**5,724,288 (16.9)**
うち有利息預金	3,935,368 (15.9)	5,556 (0.1)	3,940,925 (12.3)	**4,697,916 (18.3)**	**27,223 (0.3)**	**4,725,139 (14.0)**
定期性預金	16,467,153 (66.4)	2,761,648 (38.0)	19,228,801 (60.0)	**17,105,452 (66.4)**	**3,250,957 (40.5)**	**20,356,410 (60.3)**
うち固定金利定期預金	15,923,942 (64.2)	2,761,411 (38.0)	18,685,353 (58.3)	**16,580,265 (64.4)**	**3,250,873 (40.5)**	**19,831,138 (58.7)**
うち変動金利定期預金	543,211 (2.2)	236 (0.0)	543,447 (1.7)	**525,186 (2.0)**	**84 (0.0)**	**525,271 (1.6)**
その他の預金	77,604 (0.3)	1,001,041 (13.8)	1,078,645 (3.4)	**73,070 (0.3)**	**1,273,117 (15.9)**	**1,346,188 (4.0)**
小計	21,159,618 (85.3)	3,773,837 (52.0)	24,933,455 (77.8)	**22,867,505 (88.8)**	**4,559,381 (56.8)**	**27,426,886 (81.2)**
譲渡性預金	3,638,762 (14.7)	3,491,362 (48.0)	7,130,125 (22.2)	**2,872,120 (11.2)**	**3,470,038 (43.2)**	**6,342,158 (18.8)**
合計	24,798,380	7,265,200	32,063,580	**25,739,626**	**8,029,419**	**33,769,045**

(注) 1. （　）内は構成比であります。
2. 流動性預金とは、当座預金、普通預金、貯蓄預金及び通知預金の合計であります。
3. 固定金利定期預金とは、預入時に満期日迄の利率が確定する定期預金であります。
4. 変動金利定期預金とは、預入期間中の市場金利の変化に応じて金利が変動する定期預金であります。

銀行業務の状況

預金

(3) 定期預金の残存期間別残高

（単位：百万円）

	平成28年3月末			平成29年3月末		
	定期預金	うち固定金利定期預金	うち変動金利定期預金	定期預金	うち固定金利定期預金	うち変動金利定期預金
3ヵ月未満	5,727,828	5,688,444	39,384	**7,699,560**	**7,670,313**	**29,246**
3ヵ月以上6ヵ月未満	2,255,755	2,220,075	35,679	**3,034,098**	**3,009,490**	**24,608**
6ヵ月以上1年未満	3,028,975	2,971,921	57,053	**2,795,300**	**2,757,108**	**38,192**
1年以上2年未満	4,423,484	4,329,506	93,978	**4,102,457**	**4,005,693**	**96,763**
2年以上3年未満	1,446,500	1,359,861	86,639	**1,505,071**	**1,415,785**	**89,285**
3年以上	2,756,469	2,538,678	217,790	**2,371,928**	**2,125,028**	**246,899**
合計	19,639,013	19,108,487	530,526	**21,508,417**	**20,983,420**	**524,996**

(4) 預金者別残高

（単位：百万円、%）

	平成28年3月末	平成29年3月末
個人	16,087,311 (69.0)	**16,107,670** **(66.2)**
法人	5,668,507 (24.3)	**6,585,144** **(27.1)**
その他	1,553,975 (6.7)	**1,619,461** **(6.7)**
合計	23,309,794 (100.0)	**24,312,277** **(100.0)**

(注) 1. （　）内は構成比であります。
2. 本表の預金には、海外支店分、特別国際金融取引勘定分及び譲渡性預金を含んでおりません。

(5) 預金利回り

（単位：%）

	平成27年度	平成28年度
国内業務部門	0.18	**0.14**
国際業務部門	0.45	**0.85**
合計	0.24	**0.31**

(注) 譲渡性預金を含んでおります。

貸出金

(1) 期末残高

（単位：百万円、%）

	平成28年3月末			平成29年3月末		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
手形貸付	59,890 (0.3)	334,983 (4.4)	394,874 (1.5)	**56,267** **(0.3)**	**274,441** **(3.9)**	**330,708** **(1.2)**
証書貸付	17,290,241 (88.7)	7,210,636 (95.6)	24,500,877 (90.6)	**18,889,140** **(89.7)**	**6,821,364** **(96.1)**	**25,710,505** **(91.3)**
当座貸越	2,146,138 (11.0)	— (—)	2,146,138 (7.9)	**2,115,455** **(10.0)**	**—** **(—)**	**2,115,455** **(7.5)**
割引手形	2,478 (0.0)	— (—)	2,478 (0.0)	**2,299** **(0.0)**	**—** **(—)**	**2,299** **(0.0)**
合計	19,498,748 (100.0)	7,545,619 (100.0)	27,044,368 (100.0)	**21,063,163** **(100.0)**	**7,095,806** **(100.0)**	**28,158,969** **(100.0)**

(注)（　）内は構成比であります。

(2) 平均残高

（単位：百万円、%）

	平成27年度			平成28年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
手形貸付	78,496 (0.4)	287,697 (4.1)	366,193 (1.4)	**57,176** **(0.3)**	**281,502** **(3.9)**	**338,678** **(1.3)**
証書貸付	16,610,521 (88.9)	6,702,367 (95.9)	23,312,888 (90.8)	**18,162,742** **(90.6)**	**6,951,687** **(96.1)**	**25,114,429** **(92.0)**
当座貸越	2,005,080 (10.7)	2 (0.0)	2,005,083 (7.8)	**1,832,350** **(9.1)**	**0** **(0.0)**	**1,832,350** **(6.7)**
割引手形	2,436 (0.0)	— (—)	2,436 (0.0)	**2,191** **(0.0)**	**—** **(—)**	**2,191** **(0.0)**
合計	18,696,535 (100.0)	6,990,067 (100.0)	25,686,602 (100.0)	**20,054,459** **(100.0)**	**7,233,189** **(100.0)**	**27,287,649** **(100.0)**

(注)（　）内は構成比であります。

(3) 貸出金の残存期間別残高

（単位：百万円）

	平成28年3月末			平成29年3月末		
	貸出金	変動金利	固定金利	貸出金	変動金利	固定金利
1年以下	4,930,135			**4,720,971**		
1年超3年以下	5,465,636	4,076,444	1,389,191	**6,078,015**	**4,286,396**	**1,791,619**
3年超5年以下	4,221,904	3,262,927	958,976	**3,927,767**	**2,879,260**	**1,048,506**
5年超7年以下	2,951,904	2,513,937	437,967	**2,999,747**	**2,437,963**	**561,783**
7年超	7,270,877	5,324,196	1,946,680	**8,286,449**	**5,440,762**	**2,845,687**
期間の定めのないもの	2,203,909	2,203,884	25	**2,146,017**	**2,145,990**	**27**
合計	27,044,368			**28,158,969**		

(注) 残存期間1年以下の貸出金については、固定金利、変動金利の区別をしておりません。

銀行業務の状況

貸出金

(4) 中小企業等に対する貸出状況

（単位：百万円）

	平成28年3月末		平成29年3月末	
	貸出先数	金額	貸出先数	金額
総貸出金残高（A）	460,626件	22,955,706	**497,389件**	**24,400,090**
中小企業等に対する貸出金残高（B）	459,011	13,583,083	**495,811**	**15,116,292**
$\frac{(B)}{(A)}$	99.6%	59.1%	**99.6%**	**61.9%**

（注）1. 中小企業等とは、資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円）以下の会社又は常用する従業員が300人（ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人）以下の企業等であります。
2. 本表の貸出金には、海外支店及び特別国際金融取引勘定貸出分を含んでおりません。

(5) 消費者ローン残高

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
消費者ローン残高	7,899,166	**8,899,276**
住宅ローン残高	7,392,116	**8,353,283**
その他ローン残高	507,049	**545,993**

(6) 業種別貸出状況

（単位：百万円）

	平成28年3月末		平成29年3月末	
	貸出金残高	構成比	貸出金残高	構成比
国内店分 （除く特別国際金融取引勘定分）	22,955,706	100.0%	**24,400,090**	**100.0%**
製造業	2,658,011	11.6	**2,595,370**	**10.6**
農業，林業	3,387	0.0	**4,953**	**0.0**
鉱業，採石業，砂利採取業	9,884	0.0	**7,909**	**0.0**
建設業	126,678	0.6	**129,886**	**0.5**
電気・ガス・熱供給・水道業	795,163	3.5	**891,300**	**3.7**
情報通信業	338,355	1.5	**405,065**	**1.7**
運輸業，郵便業	1,109,197	4.8	**1,125,749**	**4.6**
卸売業，小売業	1,200,841	5.2	**1,218,851**	**5.0**
金融業，保険業	3,032,656	13.2	**2,977,062**	**12.2**
不動産業	3,040,253	13.2	**3,227,105**	**13.2**
物品賃貸業	828,494	3.6	**897,508**	**3.7**
地方公共団体	68,018	0.3	**50,839**	**0.2**
その他	9,744,763	42.5	**10,868,486**	**44.6**
海外店分及び特別国際金融取引勘定分	4,088,661	100.0%	**3,758,878**	**100.0%**
政府等	9,939	0.3	**9,239**	**0.2**
金融機関	385,265	9.4	**259,411**	**6.9**
その他	3,693,456	90.3	**3,490,227**	**92.9**
合計	27,044,368		**28,158,969**	

(7) 貸出金使途別残高

（単位：百万円、%）

	平成28年3月末	平成29年3月末
設備資金	12,354,821 (45.7)	**13,772,002** **(48.9)**
運転資金	14,689,546 (54.3)	**14,386,967** **(51.1)**
合計	27,044,368 (100.0)	**28,158,969** **(100.0)**

（注）（　）内は構成比であります。

(8) 貸出金の担保別内訳

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
有価証券	359,266	**491,410**
債権	428,805	**308,556**
土地建物	1,520,336	**1,943,112**
工場	28,440	**49,871**
財団	224,979	**185,242**
船舶・航空機	911,559	**1,033,850**
その他	1,180,926	**1,266,140**
小計	4,654,314	**5,278,182**
保証	8,435,214	**8,969,153**
信用	13,954,839	**13,911,633**
合計	27,044,368	**28,158,969**

(9) 支払承諾見返の担保別内訳

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
有価証券	8,306	**8,617**
債権	10	**631**
土地建物	1,347	**1,249**
工場	—	**169**
その他	23,711	**20,209**
小計	33,375	**30,876**
保証	8,859	**10,243**
信用	359,590	**350,314**
合計	401,825	**391,434**

(10) 貸出金利回り

（単位：%）

	平成27年度	平成28年度
国内業務部門	0.84	**0.73**
国際業務部門	1.29	**1.64**
合計	0.97	**0.97**

(11) 預貸率

（単位：%）

	平成27年度			平成28年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
預貸率（末残）	76.47	91.74	80.19	**79.42**	**70.80**	**77.05**
預貸率（平残）	75.39	96.21	80.11	**77.91**	**90.08**	**80.80**

（注）預貸率＝$\frac{\text{貸出金}}{\text{預金＋譲渡性預金}}$

(12) 特定海外債権残高

該当ありません。

銀行業務の状況

有価証券

(1) 期末残高

（単位：百万円、%）

	平成28年3月末			平成29年3月末		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
国債	691,313 (17.8)	70,239 (5.0)	761,553 (14.3)	**270,131** **(7.1)**	**40,223** **(2.3)**	**310,354** **(5.6)**
地方債	4,846 (0.1)	— (—)	4,846 (0.1)	**4,790** **(0.1)**	**—** **(—)**	**4,790** **(0.1)**
短期社債	— (—)	— (—)	— (—)	**—** **(—)**	**—** **(—)**	**—** **(—)**
社債	762,116 (19.6)	— (—)	762,116 (14.3)	**733,853** **(19.3)**	**—** **(—)**	**733,853** **(13.3)**
株式	1,721,485 (44.2)	— (—)	1,721,485 (32.4)	**1,829,637** **(48.1)**	**—** **(—)**	**1,829,637** **(33.2)**
その他の証券	712,806 (18.3)	1,348,406 (95.0)	2,061,212 (38.9)	**967,228** **(25.4)**	**1,673,081** **(97.7)**	**2,640,310** **(47.8)**
うち外国債券	— (—)	1,137,045 (80.2)	1,137,045 (21.4)	**—** **(—)**	**1,445,605** **(84.4)**	**1,445,605** **(26.2)**
うち外国株式	— (—)	147,838 (10.4)	147,838 (2.8)	**—** **(—)**	**154,159** **(9.0)**	**154,159** **(2.8)**
合計	3,892,568 (100.0)	1,418,646 (100.0)	5,311,214 (100.0)	**3,805,642** **(100.0)**	**1,713,305** **(100.0)**	**5,518,947** **(100.0)**

(注)（　）内は構成比であります。

(2) 平均残高

（単位：百万円、%）

	平成27年度			平成28年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
国債	845,947 (27.0)	38,970 (1.9)	884,917 (17.2)	**446,009** **(14.5)**	**62,132** **(3.0)**	**508,142** **(9.9)**
地方債	3,525 (0.1)	— (—)	3,525 (0.1)	**4,414** **(0.1)**	**—** **(—)**	**4,414** **(0.1)**
短期社債	— (—)	— (—)	— (—)	**—** **(—)**	**—** **(—)**	**—** **(—)**
社債	642,244 (20.5)	— (—)	642,244 (12.5)	**749,425** **(24.3)**	**—** **(—)**	**749,425** **(14.6)**
株式	1,104,757 (35.4)	— (—)	1,104,757 (21.5)	**1,094,921** **(35.5)**	**—** **(—)**	**1,094,921** **(21.3)**
その他の証券	531,283 (17.0)	1,971,041 (98.1)	2,502,325 (48.7)	**791,627** **(25.6)**	**1,989,196** **(97.0)**	**2,780,823** **(54.1)**
うち外国債券	— (—)	1,758,672 (87.5)	1,758,672 (34.2)	**—** **(—)**	**1,762,331** **(85.9)**	**1,762,331** **(34.3)**
うち外国株式	— (—)	139,566 (6.9)	139,566 (2.7)	**—** **(—)**	**157,890** **(7.7)**	**157,890** **(3.1)**
合計	3,127,757 (100.0)	2,010,012 (100.0)	5,137,769 (100.0)	**3,086,399** **(100.0)**	**2,051,329** **(100.0)**	**5,137,728** **(100.0)**

(注)（　）内は構成比であります。

(3) 預証率

（単位：%）

	平成27年度			平成28年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
預証率（末残）	15.26	17.24	15.75	**14.34**	**17.09**	**15.10**
預証率（平残）	12.61	27.66	16.02	**11.99**	**25.54**	**15.21**

（注）預証率＝$\frac{\text{有価証券}}{\text{預金＋譲渡性預金}}$

(4) 有価証券残存期間別残高

（単位：百万円）

	平成28年3月末							
	国債	地方債	短期社債	社債	株式	その他の証券	（うち外国債券）	（うち外国株式）
1年以下	605,571	589	—	51,253		234,286	234,234	
1年超3年以下	20,528	—		245,199		268,657	222,853	
3年超5年以下	—	2,467		145,621		766,834	204,635	
5年超7年以下	10,716	—		118,633		220,834	179,805	
7年超10年以下	—	1,789		43,725		112,553	88,568	
10年超	124,736	—		157,684		209,781	206,947	
期間の定めのないもの	—	—		—	1,721,485	248,264	—	147,838
合計	761,553	4,846	—	762,116	1,721,485	2,061,212	1,137,045	147,838

（単位：百万円）

	平成29年3月末							
	国債	地方債	短期社債	社債	株式	その他の証券	（うち外国債券）	（うち外国株式）
1年以下	**190,771**	**—**	**—**	**87,815**		**282,522**	**282,170**	
1年超3年以下	**—**	**—**		**186,503**		**121,217**	**84,062**	
3年超5年以下	**101**	**1,363**		**115,501**		**760,276**	**187,987**	
5年超7年以下	**—**	**—**		**157,665**		**108,280**	**95,527**	
7年超10年以下	**—**	**3,427**		**33,538**		**677,207**	**376,720**	
10年超	**119,481**	**—**		**152,829**		**425,828**	**419,136**	
期間の定めのないもの	**—**	**—**		**—**	**1,829,637**	**264,978**	**—**	**154,159**
合計	**310,354**	**4,790**	**—**	**733,853**	**1,829,637**	**2,640,310**	**1,445,605**	**154,159**

銀行業務の状況

その他の業務

(1) 内国為替取扱高

（単位：千口、百万円）

		平成27年度		平成28年度	
		口数	金額	口数	金額
送金為替	各地へ向けた分	11,698	58,588,105	**11,022**	**57,209,888**
	各地より受けた分	4,261	58,003,576	**4,335**	**56,712,225**
代金取立	各地へ向けた分	125	494,601	**120**	**460,858**
	各地より受けた分	126	440,902	**114**	**355,685**
合計		16,212	117,527,186	**15,592**	**114,738,657**

(2) 外国為替取扱高

（単位：口、百万米ドル）

		平成27年度		平成28年度	
		口数	金額	口数	金額
仕向為替	売渡為替	375,655	348,447	**472,068**	**391,685**
	買入為替	391,532	180,394	**505,793**	**195,683**
被仕向為替	支払為替	37,333	155,937	**45,009**	**195,363**
	取立為替	23	195	**14**	**106**
合計		804,543	684,974	**1,022,884**	**782,839**

(3) 公共債引受実績

（単位：百万円）

	平成27年度	平成28年度
国債	—	**—**
地方債・政府保証債	19,262	**15,050**
合計	19,262	**15,050**

信託業務の状況

信託財産残高表（資産）

（単位：百万円）

科目	平成27年度 平成28年3月31日現在	平成28年度 平成29年3月31日現在
貸出金	1,072,436	**1,410,062**
証書貸付	686,231	**873,157**
手形貸付	386,205	**536,905**
有価証券	1,954,552	**3,077,763**
国債	881,729	**1,148,643**
地方債	59	**59**
社債	ー	**907,573**
株式	10,080	**8,889**
外国証券	1,054,382	**1,001,456**
その他の証券	8,300	**11,141**
信託受益権	130,637,080	**143,214,893**
受託有価証券	32,378	**29,280**
金銭債権	12,955,600	**15,065,121**
生命保険債権	575	**607**
住宅貸付債権	11,557,953	**13,654,229**
その他の金銭債権	1,397,071	**1,410,285**
有形固定資産	12,727,705	**13,643,477**
動産	65	**67**
不動産	12,727,639	**13,643,410**
無形固定資産	155,406	**178,180**
地上権	20,635	**17,228**
不動産の賃借権	134,695	**160,879**
その他の無形固定資産	74	**73**
その他債権	7,969,136	**7,451,128**
銀行勘定貸	7,026,326	**3,973,623**
現金預け金	377,599	**424,201**
現金	0	**0**
預け金	377,599	**424,201**
合計	174,908,223	**188,467,733**

信託業務の状況

信託財産残高表（負債）

（単位：百万円）

科目	平成27年度 平成28年3月31日現在	平成28年度 平成29年3月31日現在
金銭信託	32,486,242	**30,217,814**
年金信託	16,305,604	**14,828,508**
財産形成給付信託	18,030	**17,575**
貸付信託	12,169	**10,683**
投資信託	61,220,597	**69,115,219**
金銭信託以外の金銭の信託	10,141,667	**15,544,890**
有価証券の信託	20,010,619	**20,114,053**
金銭債権の信託	13,026,651	**15,148,509**
土地及びその定着物の信託	107,469	**109,383**
包括信託	21,579,171	**23,361,093**
合計	174,908,223	**188,467,733**

（注）1. 上記残高表には、金銭評価の困難な信託を除いております。
2. 「信託受益権」に含まれる資産管理を目的として再信託を行っている金額 平成28年3月31日現在130,228,678百万円、平成29年3月31日現在142,691,739百万円
3. 共同信託他社管理財産 平成28年3月31日現在272,879百万円、平成29年3月31日現在250,283百万円
4. 元本補てん契約のある信託の貸出金 平成28年3月31日現在55,904百万円のうち延滞債権額は5,057百万円、貸出条件緩和債権額は85百万円であります。
また、これらの債権額の合計額は5,143百万円であります。
なお、破綻先債権、3カ月以上延滞債権はありません。
5. 元本補てん契約のある信託の貸出金 平成29年3月31日現在47,186百万円のうち延滞債権額は4,964百万円、貸出条件緩和債権額は67百万円であります。
また、これらの債権額の合計額は5,032百万円であります。
なお、破綻先債権、3カ月以上延滞債権はありません。

元本補てん契約のある信託（信託財産の運用のため再信託された信託を含む）の内訳

（1） 金銭信託

資産

（単位：百万円）

種類	平成27年度 平成28年3月31日現在	平成28年度 平成29年3月31日現在
貸出金	55,904	**47,186**
有価証券	29	**29**
その他	6,888,014	**3,835,243**
合計	6,943,949	**3,882,459**

負債

（単位：百万円）

種類	平成27年度 平成28年3月31日現在	平成28年度 平成29年3月31日現在
元本	6,943,283	**3,882,168**
債権償却準備金	100	**90**
その他	564	**200**
合計	6,943,949	**3,882,459**

（2） 貸付信託

資産

（単位：百万円）

種類	平成27年度 平成28年3月31日現在	平成28年度 平成29年3月31日現在
貸出金	—	**—**
有価証券	—	**—**
その他	12,169	**10,683**
合計	12,169	**10,683**

負債

（単位：百万円）

種類	平成27年度 平成28年3月31日現在	平成28年度 平成29年3月31日現在
元本	11,704	**10,262**
特別留保金	60	**53**
その他	404	**368**
合計	12,169	**10,683**

金銭信託等の受入状況

(1) 受入状況

(単位：百万円)

	平成28年3月末	平成29年3月末
金銭信託	32,486,242	**30,217,814**
年金信託	16,305,604	**14,828,508**
財産形成給付信託	18,030	**17,575**
貸付信託	12,169	**10,683**
合計	48,822,046	**45,074,582**

(注) 合計金額を信託資金量としております。

(2) 信託期間別元本残高

(単位：百万円)

	平成28年3月末		平成29年3月末	
	金銭信託	貸付信託	金銭信託	貸付信託
1年未満	481,073	—	**566,502**	**—**
1年以上2年未満	7,232,138	—	**946,270**	**—**
2年以上5年未満	7,218,112	2,057	**11,490,765**	**1,813**
5年以上	16,023,758	9,647	**15,183,993**	**8,449**
合計	30,955,084	11,704	**28,187,531**	**10,262**

金銭信託等の運用状況

※「金銭信託等の運用状況」における以下の各表の貸出金残高、有価証券残高は、金銭信託、年金信託、財産形成給付信託並びに貸付信託にかかるものであります。

(1) 運用残高

(単位：百万円)

		平成28年3月末	平成29年3月末
金銭信託	貸出金	1,058,528	**1,401,676**
	有価証券	1,427,621	**1,705,144**
	計	2,486,149	**3,106,821**
年金信託	貸出金	—	**—**
	有価証券	—	**—**
	計	—	**—**
財産形成給付信託	貸出金	—	**—**
	有価証券	—	**—**
	計	—	**—**
貸付信託	貸出金	—	**—**
	有価証券	—	**—**
	計	—	**—**
合計	貸出金	1,058,528	**1,401,676**
	有価証券	1,427,621	**1,705,144**
	計	2,486,149	**3,106,821**

(2) 貸出金の科目別残高

(単位：百万円、%)

	平成28年3月末	平成29年3月末
証書貸付	672,323 (63.5)	**864,771** **(61.7)**
手形貸付	386,205 (36.5)	**536,905** **(38.3)**
割引手形	— (—)	**—** **(—)**
合計	1,058,528 (100.0)	**1,401,676** **(100.0)**

(注)（　）内は構成比であります。

信託業務の状況

金銭信託等の運用状況

(3) 中小企業等に対する貸出状況

（単位：百万円）

	平成28年3月末		平成29年3月末	
	貸出先数	金額	貸出先数	金額
総貸出金残高（A）	5,300件	1,058,528	**4,538件**	**1,401,676**
中小企業等に対する貸出金残高（B）	5,191	882,695	**4,443**	**1,187,247**
(B)/(A)	97.9%	83.3%	**97.9%**	**84.7%**

（注）中小企業等とは、資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円）以下の会社又は常用する従業員が300人（ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人）以下の企業等であります。

(4) 消費者ローン残高

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
消費者ローン残高	32,999	**27,662**
住宅ローン残高	30,060	**25,325**
その他ローン残高	2,939	**2,337**

(5) 貸出金の契約期間別残高

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
1年以下	456,976	**622,145**
1年超3年以下	67,003	**150,747**
3年超5年以下	82,254	**78,638**
5年超7年以下	150,737	**153,501**
7年超	301,556	**396,643**
合計	1,058,528	**1,401,676**

(6) 業種別貸出状況

（単位：百万円）

	平成28年3月末		平成29年3月末	
	貸出金残高	構成比	貸出金残高	構成比
製造業	4,880	0.5%	**4,460**	**0.3%**
情報通信業	—	—	**64,000**	**4.6**
運輸業、郵便業	520	0.0	**520**	**0.0**
卸売業、小売業	3,085	0.3	**885**	**0.1**
金融業、保険業	886,974	83.8	**1,169,239**	**83.4**
不動産業	22,762	2.1	**22,506**	**1.6**
物品賃貸業	11,206	1.1	**8,060**	**0.6**
その他	129,100	12.2	**132,004**	**9.4**
合計	1,058,528	100.0	**1,401,676**	**100.0**

(7) 貸出金使途別残高

（単位：百万円、%）

	平成28年3月末	平成29年3月末
設備資金	47,749 (4.5)	**41,261** **(2.9)**
運転資金	1,010,779 (95.5)	**1,360,415** **(97.1)**
合計	1,058,528 (100.0)	**1,401,676** **(100.0)**

(注)（　）内は構成比であります。

(8) 貸出金の担保別内訳

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
債権	11	**5**
土地建物	14,156	**13,119**
その他	36	**16**
小計	14,204	**13,141**
保証	28,992	**24,199**
信用	1,015,331	**1,364,335**
合計	1,058,528	**1,401,676**

(9) 有価証券運用の状況

（単位：百万円、%）

	平成28年3月末	平成29年3月末
国債	364,849 (25.6)	**693,045** **(40.7)**
地方債	59 (0.0)	**59** **(0.0)**
短期社債	— (—)	**—** **(—)**
社債	— (—)	**2,279** **(0.1)**
株式	29 (0.0)	**29** **(0.0)**
その他の証券	1,062,682 (74.4)	**1,009,730** **(59.2)**
合計	1,427,621 (100.0)	**1,705,144** **(100.0)**

(注)（　）内は構成比であります。

信託業務の状況

個別信託の受託状況

(1) 年金信託業務

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
年金信託残高	16,305,604	**14,828,508**
受託件数	3,593件	**3,566件**

(2) 財産形成信託業務

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
受託残高	941,006	**930,295**
事業所数	11,342カ所	**11,201カ所**
加入者数	357千人	**347千人**

（注）財産形成信託の受託残高は、信託財産残高表の「金銭信託」に計上されております。

(3) 証券信託業務

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
特定金銭信託・特定金外信託	2,143,803	**2,208,434**
指定金外信託	281,503	**198,384**
合計	2,425,306	**2,406,818**

（注）1. 「金外信託」は「金銭信託以外の金銭の信託」の略称であります。
2. 「指定金外信託」の当社商品名はファンド・トラストであります。

総資金量

総資金量の推移

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
総資金量	82,543,591	**81,617,123**
預金	26,467,412	**29,019,323**
譲渡性預金	7,254,132	**7,523,217**
金銭信託	32,486,242	**30,217,814**
年金信託	16,305,604	**14,828,508**
財形給付信託	18,030	**17,575**
貸付信託	12,169	**10,683**

併営業務等の状況

公共債及び証券投資信託の窓口販売実績

（単位：百万円）

	平成27年度	平成28年度
国債	3,252	**616**
地方債・政府保証債	—	**—**
合計	3,252	**616**
証券投資信託	1,078,712	**999,117**

公共債のディーリング実績

（単位：百万円）

	平成27年度	平成28年度
売買高	1,524,238	**1,478,525**
商品国債	1,524,068	**1,478,425**
商品地方債	170	**100**
商品政府保証債	—	**—**
平均残高	38,938	**35,467**
商品国債	38,221	**34,705**
商品地方債	90	**141**
商品政府保証債	627	**620**

支払承諾の残高内訳

（単位：口、百万円）

		平成28年3月末	平成29年3月末
手形引受	口数	—	**—**
	金額	—	**—**
信用状	口数	3	**2**
	金額	3,441	**2,421**
保証	口数	1,793	**1,555**
	金額	398,384	**389,012**
合計	口数	1,796	**1,557**
	金額	401,825	**391,434**

不動産業務

		平成27年度	平成28年度
売買の媒介	件数	576件	**564件**
	取扱高	1,972,036百万円	**1,763,994百万円**
貸借の媒介	件数	49件	**52件**
土地信託契約受託件数		72件	**65件**

（注）「売買の媒介」の件数及び取扱高には信託受益権の売買件数及び取扱高が含まれております。

証券代行業務

		平成27年度	平成28年度
受託会社数（期末現在）	（公開）	1,376社	**1,411社**
	（未公開）	912社	**934社**
	（合計）	2,288社	**2,345社**
管理株主数（期末現在）		23,742千名	**23,790千名**

貸倒引当金等の状況

貸倒引当金内訳

（単位：百万円）

	平成27年3月末	増加額	減少額		平成28年3月末
			目的使用	その他	
一般貸倒引当金	(△412) 45,028	51,422	—	45,028	51,422
個別貸倒引当金	(△529) 21,027	12,882	11,128	9,898	12,882
合計	(△941) 66,055	64,305	11,128	54,926	64,305

	平成28年3月末	増加額	減少額		平成29年3月末
			目的使用	その他	
一般貸倒引当金	(△43) 51,379	**79,336**	**—**	**51,379**	**79,336**
個別貸倒引当金	(△55) 12,827	**10,693**	**219**	**12,607**	**10,693**
合計	(△99) 64,206	**90,030**	**219**	**63,987**	**90,030**

（注）（　）内は為替換算差額を内訳表示しております。

	平成27年3月末	増減額	平成28年3月末
債権償却準備金	162	△61	100
特別留保金	71	△10	60
合計	233	△72	160

	平成28年3月末	増減額	平成29年3月末
債権償却準備金	100	**△10**	**90**
特別留保金	60	**△7**	**53**
合計	160	**△17**	**143**

（単位：%）

資産区分	引当の状況	引当率	
		平成28年3月末	平成29年3月末
破綻先・実質破綻先	担保・保証等による保全のない部分の全額を個別貸倒引当金に繰入。	100.0	**100.0**
破綻懸念先	大口先（与信額50億円以上）については原則DCF法を適用。その他の債権については担保・保証等による保全のない部分に対して個別に回収可能性を見積もり、個別貸倒引当金に繰入。	66.4	**62.8**
要注意先		5.6	**8.5**
要管理先	貸倒実績率に基づく予想損失額を一般貸倒引当金に繰入。大口先（与信額50億円以上）については原則DCF法を適用。その他の債権については保全、非保全別に引当。	3.9	**2.3**
その他要注意先	貸倒実績率に基づく予想損失額を一般貸倒引当金に繰入。信用リスクに応じて一部の大口先（与信額50億円以上）については、原則DCF法を適用。その他の債権については、債務者をグルーピングの上、保全、非保全別に引当。	5.7	**8.9**
正常先	貸倒実績率に基づく予想損失額を一般貸倒引当金に繰入。信用リスク等に応じて、債務者をグルーピングの上、引当。	0.1	**0.1**

貸出金償却額

（単位：百万円）

	平成27年度	平成28年度
貸出金償却額	6,493	**378**

リスク管理債権の状況

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成29年3月末
銀行勘定		
破綻先債権額	1,537	**1,003**
延滞債権額	46,397	**33,945**
3カ月以上延滞債権額	—	**191**
貸出条件緩和債権額	33,160	**27,551**
合計	81,095	**62,691**
信託勘定		
破綻先債権額	—	**—**
延滞債権額	5,057	**4,964**
3カ月以上延滞債権額	—	**—**
貸出条件緩和債権額	85	**67**
合計	5,143	**5,032**
銀信合算		
総合計	86,238	**67,724**
貸出金残高		
銀行勘定	27,044,368	**28,158,969**
信託勘定	55,904	**47,186**

（注）部分直接償却（平成28年3月末20,383百万円、平成29年3月末13,775百万円）後の計数。

金融再生法に基づく資産査定の開示及び保全率

（単位：百万円、%）

	平成28年3月末					平成29年3月末				
	債権金額 (A)	担保・保証等による保全額 (B)	引当金額 (C)	引当率 (C/(A−B))	保全率 ((B+C)/A)	債権金額 (A)	担保・保証等による保全額 (B)	引当金額 (C)	引当率 (C/(A−B))	保全率 ((B+C)/A)
銀行勘定										
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11,902	7,443	4,458	100.0	100.0	**7,928**	**4,403**	**3,525**	**100.0**	**100.0**
危険債権	39,893	27,963	7,923	66.4	89.9	**30,465**	**19,904**	**6,639**	**62.8**	**87.1**
要管理債権	33,160	27,261	1,332	22.5	86.2	**27,743**	**24,403**	**652**	**19.5**	**90.3**
小計	84,956	62,668	13,714	61.5	89.9	**66,137**	**48,710**	**10,817**	**62.0**	**90.0**
正常債権	27,522,498					**28,621,827**				
合計	27,607,455					**28,687,964**				
信託勘定										
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11	11				**10**	**10**			
危険債権	5,046	5,046				**4,953**	**4,953**			
要管理債権	85	85				**67**	**67**			
小計	5,143	5,143			100.0	**5,032**	**5,032**			**100.0**
正常債権	50,761					**42,153**				
合計	55,904					**47,186**				
銀信合算										
総合計	27,663,360					**28,735,150**				

（注）部分直接償却（平成28年3月末20,431百万円、平成29年3月末13,817百万円）後の計数。

資本・株式の状況

資本金の推移

（単位：百万円）

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
増加の内訳					
新株の発行	—	—	—	—	—
新株予約権の権利行使	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—
資本金	342,037	342,037	342,037	342,037	**342,037**

発行済み株式数の内容

（平成29年3月31日現在）

種類	発行数（株）	上場金融商品取引所名	摘要
普通株式	1,674,537,008	—	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式。なお、単元株式数は1,000株であります。

株式の所有者別状況

（平成29年3月31日現在）

区分	株主数（人）	所有株式数（単元）	割合（%）
政府及び地方公共団体	—	—	—
金融機関	—	—	—
金融商品取引業者	—	—	—
その他の法人	1	1,674,537	100.00
外国法人等			
（個人以外）	—	—	—
（個人）	—	—	—
個人・その他	—	—	—
計	1	1,674,537	100.00
単元未満株式の状況		8株	

（注）1単元の株式数は1,000株であります。

大株主

（平成29年3月31日現在）

株主名	所有株式数（株）	持株比率（%）
三井住友トラスト・ホールディングス株式会社	1,674,537,008	100.00